

第七十六回帝國議會  
衆議院

### 外國爲替管理法改正法律案委員會會議錄(速記)第四回

#### 會議

昭和十六年二月十四日(金曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村金三郎君

理事木村 淺七君 理事菊池 良一君

理事中田 儀直君

笠井 重治君 太田 理一君

作田高太郎君 武田徳三郎君

中島彌團次君 中原 謹司君

栗山 博君 森田 福市君

同日委員田原春次君辭任ニ付其ノ補闕トシ

テ河野密君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏省銀行局長 相田 岩夫君

大藏省爲替局長 原口 武夫君

司法省刑事局長 秋山 要君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

外國爲替管理法改正法律案(政府提出)

不動産融資及損失補償法中改正法律案

(政府提出)

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)

兌換銀行券條例ノ臨時特例ニ關スル法律

#### 案(政府提出)

朝鮮銀行法及臺灣銀行法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)

朝鮮銀行法中改正法律案(政府提出)

臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法中改正法律案(政府提出)

○西村委員長 開會致シマス、通告順ニ依

ツテ中島彌團次君ニ質問ヲ許シマス

○中島(彌)委員 外國爲替管理法改正ニ依

リマシテ、戰時體制ヲ整ヘラレタノデアリ

マスガ、私ノ第一ニ問ヒタイ所ハ、今年度

ノ追加豫算ト致シマシテ、豫算外國庫ノ負

擔トナル契約ニ關シマシテ、外國爲替損失

補償金ト云フモノハ「外國爲替管理法第三條

ノ規定ニ依リ政府ノ命令ニ基キ外國爲替銀

行其ノ他對外取引ヲ爲ス者ノ蒙ルコトアル

ベキ損失ヲ補償スル爲總額五億圓ヲ限リ昭

和十六年度以降五箇年度内ニ於テ國庫ノ負

擔トナルベキ契約ヲ昭和十六年度ニ於テ結

ブコトヲ得「トナツテ居リマス、ソレカラモ

ウ一ツハ商工省ノ輸出補償金ノ方デアリマ

スルガ、是亦四億一千二百二十一萬圓ニ限

リマシテ、十五年度以降七箇年間ニ於テ國

庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ昭和十五年度以

降二箇年間ニ於テ之ヲ締結スルコトニナツ

テ居リマス、ソレカラモウ一ツハ戰時海上

保險ノ損失デアリマスルガ、是亦此ノ度昭

和十五年度以降六箇年以内ニ於テ一千万圓

ヲ限リ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ

締結スルト云フコトニナリマシテ、從來昭

和十四年度以降二箇年間ニ於キマシテ、總

額一千万圓ヲ限リ海上保險ノ損失補償ヲ締

結シテアリマシタガ、其ノ後ノ情勢ニ依リ、

今度一千万圓ヲ増加スルコトニナツテ居ル

ノデアリマス、換言スレバ此ノ輸出補償ハ

商工省關係ノ輸出補償、今度ノ大藏省ノ外

國爲替損失補償金、ソレカラ海上保險ノ方

ノ損失補償、大體本年度ノ豫算ニ於キマシテ

此ノ三ツノ戰時體制ヲ強化サレテ、一ツノ

貿易振興ノ方策ガ打立テラレルノデアリマ

シテ、是ハ非常ニ重大ナルコトデアルト思

ヒマスガ、私共ノ疑問トシテ居ル所ハ、金

額ヲ申シマシテモ今申シマシタ通り全部デ

十億近イ所ノ金ニナツテ居ルノデアリマス、

ダケノ金額ヲ出サネバイカスト云フヤウナ

コトモアリ得ルト考ヘルノデアリマスルガ、

此ノ時局切迫シタル場合ニ於キマシテ、此

ノ問題ハドウ云フ風ニ之ヲ適用サレル御考

ヘデアリマセウカ、ソレガ第一點デアリマ

ス、例ヘテ申シマスルト、第一ニ外國ニ輸

出スル荷物ニ保險ノ付イテ居ル場合ハ、即

チ船荷證券ト云フモノモアリマスシ、其ノ

場合ニ於キマシテ保險ガ付イテ居ル荷物ガ

潜水艦ニ撃沈サレルトカ、或ハ其ノ他ノ理由

ニ依リマシテ荷物が着カナクナルトカ云フ

ヤウナ場合ニ於キマシテモ、ヤハリ爲替ノ

方ノ「ビル」ノ關係モアリマスノデ、當事者及

ビ銀行ノ方ガ損害ヲ被ツタ場合ニ於テハ、

第一ニ於テ保險ノ掛ツテ居ルモノハ保險デ

之ヲ「カバー」シテ救済ヲシテヤル、其ノ次

ニ商工省關係ノ輸出補償ハ平時ノモノガ

十六年度豫算ニモ見積ラレテ居リマス、之

ヲ四億ノ豫算外國庫ノ負擔ヲナスト云フ關

係カラ考ヘテ見マス「ビル」ガアル、何處

マデモ商工省關係ハ「ビル」ノ線ニ沿ウテ之

ヲ救済シテヤル、「ビル」ガ落ちナイト云フ

ヤウナ場合ニハ、手形本位ニヤツテ行クノ

付託議案

外國爲替管理法改正法律案(政府

提出)(第四六號)

不動産融資及損失補償法中改正法

律案(政府提出)(第四九號)

臨時資金調整法中改正法律案(政

府提出)(第五〇號)

兌換銀行券條例ノ臨時特例ニ關ス

ル法律案(政府提出)(第五二號)

朝鮮銀行法及臺灣銀行法ノ臨時特

例ニ關スル法律案(政府提出)(第

五三號)

朝鮮銀行法中改正法律案(政府提

出)(第五四號)

臺灣銀行法中改正法律案(政府提

出)(第五五號)

產業組合中央金庫特別融通及損失

補償法中改正法律案(政府提出)

(第五六號)

第六類第十八號

外國爲替管理法改正法律案委員會會議錄

第四回

昭和十六年二月十四日

二七

デアリマス、ソレカラ大藏省關係ノ輸出補償金ノ場合ハ、今讀上ゲマシタヤウナ工合ニ大藏大臣ノ説明ニ依リマシテモ、此ノ外國爲替管理法第三條ノ規定ニ依ル政府ノ命令ニ基キ云々トアリマシテ、政府ノ命令シタ場合ノミニ輸出補償制度ノ五億圓ヲ適用サレルモノデアリマセウカ、サウシマスルト第三條ノ規定ノミニ依ル政府ノ命令ニ基イテ、外國爲替銀行、其ノ他ノ對外取引ヲ爲スモノヲ救済スルト云フコトニナルト、範圍ガ非常ニ狹メラレテ來ラレル、此ノ「リスク」カラ洩レルモノガアルヤウニモ思ハレル、又一方カラ見ルト是ダケノ多クノ金ヲ投資シテヤルノデアリマスカラ、總テノ輸出貿易ニ對シテ命令ヲナスト云フ考ヘラツテ居レバ、全般ノニ此ノ方面ハ斯ウ云フモノヲ賣出ス、此ノ方面ニハドウ云フモノヲ賣レト云フヤウナ風ニヤラレルノデアリマセウカ、此ノ三者ノ適用ガダブル點モアルシ、ドノ範圍ニ商工省關係ノ輸出命令、大藏省關係ノ外國爲替補償制度——是ハ豫算ノ問題デアリマスカラ豫算委員會ニ於テモ聽イタコトデアリマスカラ、爲替ノ問題ヲ中心ト致シマシテドウ云フ方法ニ依ツテ此ノ三ツノ大キナ戰時體制ニ於ケル外國貿易輸出振興、若シクハ補償制度ト云フモノヲ、適用サルル御見込デアリマスカ、此ノ點ニ付テ御伺ヒラ致シタイ

○原口政府委員 御尋ネノ今回ノ外國爲替補償金ノ制度ト、從來ゴザイマシタ輸出補償ノ制度、ソレカラ戰時保險ノ制度、此ノ三者ノ制度ハ何レモ御承知ノ通り今日ノ困難ナ、而モ危險ノ多イ海外ノ情勢ノ下ニ於キマシテ、積極的ニ我が國ノ通商貿易ヲ伸シテ參リマス爲ノ土臺トシテ、第一線ニ働

ク爲替銀行或ハ輸出業者ト云フモノノ過度ノ、通常以上ノ損失、通常以上ノ危險、斯ウ云フモノヲ政府ノ方デ受取りマシテ、サウシテ貿易ヲ伸シテ行カウ、斯ウ云フ趣旨ノコトハ中島サンモ既ニ御諒承ノコトト存ジマス、本問題ニ入りマス前ニ一寸経緯ヲ申シマスルト、昨年ノ下半年ニ於キマシテ、殊ニ三國條約ガ締結サレマシタ前後カラ、我が國ノ輸出貿易ト云フモノハ各種ノ事情カラ非常ニ減退シテ參リマシタ、ソコデ取敢ズ政府ハ關係方面ト協議ヲ致シマシテ今ノ戰時保險ヲモツト活用シヨウト云フコトガ一ツト、ソレカラ輸出補償ノ制度ヲモウ少シ戰時的ニシヨウ、此ノ二ツノ應急措置ヲ執リマシテ、何レモ議會ノ御協賛ヲ要シナイ方法ト云フコトニナリマシタノデ、其ノ範圍ハ限定サレマシタガ、幾分ノ效果ハアツタモノト思ツテ居リマス、其ノ内容ヲ一寸申上ゲマスルト、戰時保險ノ方ハ從來ハ御承知ノ通り貨物ガ日本ヲ離レマシテ、先方ノ國ノ港ヘ本船ガ入ル、ソコマデシカ保險ハゴザイマセヌデシタ、ソレカラ船ニ載セマシテ倉庫ニ入レル、物が實際ノ買手ニ行クマデニハ相手ノ國ノ陸地ニ於テ若干ノ期間ヲ經過スルコトニナリマス、其ノ間ニ於キマシテ色々ノ事故ガ起ル、「ヨーロッパ」ニ於テハ多數ノ港ガ空襲ヲ受ケル、ソレニ因ツテ貨物ニ幾多ノ損害ヲ生ズル、斯ウ云フ事例モゴザイマシタ、左様ナモノハ從來ノ戰時保險デハ一切保險ノ外ニナツテ居リマシタ、所謂「オン・ボード」ダケヲ保險スル、「オン・ランド」ハ保險外ニナツテ居リマシタ、ソレハ是ハ商工省ノ關係ニナリマセルガ、法律ヲ變ヘズニ「オン・ランド」マデ行ケル、斯ウ云フコトニ幸ヒナツテ居リマス、

勅令以外ノ修正デ延シテ行キ得ルヤウニナツテ居リマシタノデ、其ノコトヲ昨年末ニ至急ニ取運ビマシテ、兎ニ角應急措置ノ一ツト致シマシタ、ソレカラ輸出補償ノコトデアリマスガ、是モ只今中島サンカラ仰セノ通り、元々平時的ノ輸出振興方策カラ生レタ制度デアリマスガ、是モ何分議會ノ開ケマス前、應急措置ト致シマシタノデ、輸出補償法ヲイデル譯ニモ參リマセヌシ、又豫算外國庫ノ負擔モ殖ヤス譯ニモ參リマセヌ、豫算ヲ殖ヤス譯ニモ參リマセヌ、而モ事ハ急ヲ要シマシタノデ、取敢ズ運用ト致シマシテ、外國爲替管理ノ關係、或ハ戰時ノ危險、斯ウ云フコトカラ手形ニ故障ノ起ツタ場合ニ於テモ、或ル程度損失ヲ「カ

バー」出來ル、斯ウ云フ打合セラ致シマシテ、本年ノ初メカラ段々ト應急措置ヲ實行シテ來テ居リマス、然ルニ是ハ元々臨時應急措置デアリマシテ、到底今日ノ困難ナ國際貿易戰ニ對處スル永久的ノ措置トシテハ、不十分ナデアリマスルカラ、此ノ度議會ニ對シテ只今仰セノ三ツノ豫算上ノ措置ヲ講ズルコトヲ、御願ヒスルヤウニナツタ次第デアリマス、ソコデ本論ニ入りマシテ此ノ三者ノ關係デゴザイマスカラ、戰時保險ノ方ハ、是ハ私共ノ直接關係ハシテ居リマセヌガ、只今申シマシタヤウニ應急措置トシテ「オン・ランド」、即チ船ニ載セテカラ倉庫ニ行ク間マデ、取敢ズ延バシマシタガ、實ハ是ハ臨機應急ノ措置デアリマシテ、何レノ國ニ於キマシテモ一般的ニハ左様ナコトヲヤツテ居リマセヌ、ソコデ是ハ商工省ノ關係デアリマスガ、戰時保險ノ方ハヤハリ從來ノ通り「オン・ボード」、詰リ本船マデヲ本體ニシマシテ、今日臨時的ニ延バシテ居リ

マスノハ輸出補償ノ方ガ完備致シマス、其ノ方ヘ吸收スル、斯ウ云フ内々ノ打合セデ今進ンデ居リマス、今日暫定的ニ「オン・ランド」デ戰時保險ヲ延バシテ居リマス方ハ、大體十五年度末即チ本年三月末迄デ、四月以降ハ只今御審議ヲ願ツテ居リマス輸出補償法ノ方ガ擴充サレマスト、其ノ方ヘ乘リ移ツテ行ク、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、次ニ輸出補償ノ制度デアリマスガ、是ト今回ノ外國爲替損失補償金、此ノ關係ハ斯ウ云フ風ニ申上ゲタラ宜カラウカト思ヒマス、外國爲替補償金ノ方ガ只今一寸仰セノ通り廣クナツテ居リマス、外國爲替補償金ノ方ハ二ツノ性質ヲ持ツテ居リマシテ、一ツハ獨自ノ補償ノ分野ヲ持ツテ居リマス、一ツハ輸出補償制度ノ補完的作用ヲナス、斯ウ云フ性質ヲ持ツテ居リマス、尙ホ少シ詳シク申シマスト、輸出補償ノ今日ノ制度ハ如何ニ之ヲ戰時的ニ直シマシテモ、元々輸出手形ガ出テカラ銀行ニ手形ヲ賣リマシテ、ソレカラ先方ニ行ツテ手形ガ落ちル、ソコマデノ期間ノ色々ノ事故ヲ補償スル、サウ云フ範圍ニ限ラレテ居リマス、所

ガ貿易ノ實際カラ申シマスト、輸出業者ハ手形ヲ實際銀行ニ買ツテ貰フ前ニ、既ニ多クハ爲替ノ豫約ヲ致シマス、ドチラカト申シマスト豫約ノ方ガ輸出業者ノ採算ノ基準トシテハ却テ重要性ヲ持ツテ居リマス、御承知ノ通り海外カラ引合ガ來マス、輸出業者ハソレヲ引受ケマス場合ニ、商品ノ價格其ノモノト、爲替ノ相場ト、此ノ二ツノ點カラハズキ出シマシテ採算ノ基準ト致スノデアリマスガ、其ノ際普通ハ直グ爲替ノ豫約ヲ致シマス、今日ノ如ク將來ノ不安危險ノ多イ場合ハ、殊ニ爲替ノ「カバー」ハ直グ取

ル、サウ云フ範圍ニ限ラレテ居リマス、所ガ貿易ノ實際カラ申シマスト、輸出業者ハ手形ヲ實際銀行ニ買ツテ貰フ前ニ、既ニ多クハ爲替ノ豫約ヲ致シマス、ドチラカト申シマスト豫約ノ方ガ輸出業者ノ採算ノ基準トシテハ却テ重要性ヲ持ツテ居リマス、御承知ノ通り海外カラ引合ガ來マス、輸出業者ハソレヲ引受ケマス場合ニ、商品ノ價格其ノモノト、爲替ノ相場ト、此ノ二ツノ點カラハズキ出シマシテ採算ノ基準ト致スノデアリマスガ、其ノ際普通ハ直グ爲替ノ豫約ヲ致シマス、今日ノ如ク將來ノ不安危險ノ多イ場合ハ、殊ニ爲替ノ「カバー」ハ直グ取

ツテ置ク是ハ普通ノヤリ方ニナツテ居リマ  
ス、ソレガ今日ノ輸出補償ノ制度デハマダ  
銀行ニ手形ヲ賣ル前ノ取引デアリマスカラ  
「カバ」ハサレス、斯ウ云フコトニナツテ  
居リマス、ソレカラ段々貨物が外國へ出テ  
行キマシテ、手形ガ落ちル前ノ事故ハ、今  
日ノ制度デ處置シ得ルノデアリマスガ、一  
旦銀行ニ手形ガ落ちル、其ノ後ニ銀行ノ資  
金ニ様々ノ故障ガ起ル、是ハ輸出補償法ノ  
制度外ニナツテ居リマス、要約シテ申シマ  
スト、今日ノ輸出補償法ト云フモノハ輸出  
業者ヲ主ニシテ居リマシテ、輸出業者ガ負  
擔スル危険ヲ政府デ分擔スル、斯ウ云フ點  
ニ眼目ガ置イテゴザイマシテ、其ノ相手ニ  
ナリマスル爲替銀行ト云フモノニ付テハ、  
左程十分ニハ考ヘテ居リマセヌ制度デアリ  
マス、所ガ貿易ト云フモノハ、輸出業者、  
爲替銀行、是ガ一聯ノ關係ヲナシマスルノ  
デ、今日ノヤウナ事態ニナリマス、爲替  
銀行自身ノ危険ト云フモノ、或ル程度「カ  
バ」スルト云フ制度ガ一方ニゴザイマセ  
スト、中々進ンデ手形ヲ銀行デ買ハスト云  
フコトニナリマス、自然如何ニ商人ノ危険  
ノミガ「カバ」サレマシテモ、物事ガ圓滑ニ  
動イテ行カス、斯ウ云フコトニナリマス  
デ、左様ナ意味合ニ於キマシテ、只今申シ  
マシヤウニ今回ノ爲替ノ方ノ制度ハ、輸  
出補償ノ一ツノ補完的作用ヲナス、斯ウ云  
フ點ガゴザイマス、ソレカラモウ一ツ固有  
ノ分野ニ付テ申シマス、今回ノ外國爲  
替損失補償金ハ全然貿易ニ關係ナイ場合  
ニ幾多適用アルコトヲ豫想シテ居リマシ  
テ、第三條ノ規定ハ可ナリ廣汎ナ分野ニ  
互ツテ居リマス、政府ハ爲替或ハ外貨債券  
其ノ他外國ニアル財産、斯ウ云フモノヲ、

一言ニシテ申シマスレバ全部其ノ管理ノ下  
ニ置ク、必要ニ應ジテハ之ヲ全部政府ノ  
管理ニ移ス、斯ウ云フ命令モ出セルヤウ  
ナ任組ニナツテ居リマス、只今直ガ左様ナ  
コトヲスル意思ハゴザイマセヌガ、必要  
ニ應ジ左様ナ場合ニ於テ——是ハ貿  
易トハ全ク關係ガゴザイマセヌガ、其ノ  
財産ノ所有者或ハ關係者ニ多大ノ損害ヲ與  
ヘル、斯ウ云フコトモ豫想シ得ルノデアリ  
マス、斯様ナ場合ニ於キマシテ國トシテ其  
ノ損失ヲ負擔スル、斯ウ云フ意味デアリマ  
シテ、貿易ニ關係ノナイ分野ニ於キマシテ、  
此ノ第三條ノ命令ヲ圓滑ニ運用スル爲ニハ  
今回ノヤウナ制度ガ相伴ツテ參リマシタ方  
ガ適當デアルト思ツテ、立案致シタ次第デ  
アリマス

○西村委員長 一寸中島君ニ御交渉申シタ  
イノデスガ、實ハ司法省關係デ留保サレタ  
笠井君ノ質問ガアリマシテ、今司法省ノ政  
府委員ニ御多忙中ヲ一寸出席願ツタノデス  
ガ、ソレデ此ノ間ニ一寸笠井君ニ御許シヲ  
願ヒタイノデスガ……

○中島(彌)委員 宜シウゴザイマス

○西村委員長 ソレデハ笠井君

○笠井委員 私ハ昨日原口局長ニ御伺ヒシ  
タ點ニ付テ司法當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト  
思ツテ居リマス、爲替局長ニ御伺ヒ致シマ  
シタ點ハ、本法即チ外國爲替管理法ハ、主  
トシテ「ブロック」以外ノ國ニ適用スルモ  
ノデハナイカ、即チ立法ノ精神ガ其處ニア  
ルノデハナイカト云フコトヲ伺ヒマシタ所  
其ノ通りデアルト云フ御返事デアリマシタ、  
然ラバ是ガ適用ノ場合ニ於キマシテハ、又  
當局トシテハ相當ニ考慮スベキ點ガアラウ  
ト思フ、茲ニ罰則ニ就テ見ルニ第七條ニ依

リマス、違反者ニ對シテ相當苛酷ナル罰  
則ヲ加ヘテ居リマス、然ラバ「ブロック」  
内ニ於テ此ノ法ヲ犯シタ者ト、圓「ブロッ  
ク」以外ニ於テ此ノ法ヲ犯シタ者ト、法ヲ  
適用スル場合ニ於テ差ハアリハシナイカ  
ト云フ結論ニ達スルノデアリマス、昨日其  
ノ點ニ付テ爲替局長ニ伺ヒマシタ所、正ニ  
其ノ通りデアルト云フ御答辯デアリマシタ、  
ソコデ、私ハ本日秋山刑事局長ガ御出席ニ  
ナツテ居リマスカラ、刑事局長ニ司法省ノ  
之ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイト思ツテ居ル  
ノデアリマス、第一條第二項ノ前段ニ斯ウ  
云フコトガ書イテアリマス、通貨若ハ外國  
通貨ノ輸出若ハ輸入「トアリマスルノデ、此  
ノ點ニ付テ御尋ネシタイノデアリマス、即  
チ最近本法ニ關スル問題ガ頻繁ニ起ツテ居  
ルコトヲ聞キマシテ、ソレハ日本内地カラ  
支那ニ旅行スル人、又支那カラ日本内地ヘ  
輸入ヲ致スモノ、ニ付テ色々ナ問題ガ起ツ  
テ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレ  
故ニ此ノ點ヲ伺フノデアリマス、日本通  
貨又ハ外國通貨ヲ圓「ブロック」内ニ輸入又  
ハ輸出シタ場合ト、圓「ブロック」以外ニ輸  
入又ハ輸出シタ場合ト立法ノ精神ヲ推測シ  
テ見マスト二者同一デナク、隨テ法ノ適用  
ノ上ニ於テモ亦自ラ兩者ノ間ニ相違アルベ  
キ筈ダト思ヒマスルガ、此ノ點ハ如何デゴ  
ザイマスカ、即チ日本内地カラ圓「ブロッ  
ク」區域内ニ向ケテ日本ノ貨幣ヲ密送シタ  
場合ト、日本内地カラ外國ノ貨幣ヲ——例ヘ  
バ「ドル」トカ「ポンド」トカ「フラン」トカ外  
國ノ貨幣ヲ密送シタ場合ト、何レモ管理法ニハ  
違反ラシテ居ルノニ相違ナイガ、犯罪ノ性  
質ニ於テハ聊カ相違ガアルト思フ、其ノ點  
ニ付テハ司法當局ノ御考ヘハ如何デアリマ

スカ、即チ茲ニ甲ナル者ガアリマシテ、内  
地カラ圓貨ヲ持ツテ行ツテ、サウシテ圓「ブ  
ロック」内ニ之ヲ密送持參ラスル、サウシテ  
ソレヲ以テ支那方面ヨリ國家ノ必要トスル  
軍需品デアリマストカ、或ハ銅、錫、鉛ト  
云フ風ナモノヲ輸入スル者ガアリ又一方  
ニ於テハ日本内地カラ、外國ノ貨幣「ドル」  
「ポンド」「フラン」等ヲ持ツテ、密カニ之ヲ  
送ツテ上海方面、或ハ香港「マニラ」方面カラ  
贓澤品ヲ假リニ輸入シタトスレバ、其ノ場  
合ハドウデアルカ、此ノ二ツノ場合ニ於テ  
甲乙共ニ何レモ外國爲替管理法ニハ觸レテ  
違反シテ居ルノデアリマスカラシテ、何レ  
モ此ノ七條ニ係ハルコトト思ヒマスガ、其  
ノ精神ニ於テハ相當ニ大ナル相違ガアラウト  
思フ、斯様ナ場合ニ於テ之ヲ同一ニ處罰ス  
ベキモノデアルカ、或ハ又法ノ運用ノ際ニ  
於テ、是ハ其ノ精神ニ於テモ違ツテ居ルノ  
デアルカラシテ、司法省ハ或ル程度ニ之  
ヲ緩和對酌シテ解釋スベキモノデアルト思  
フガ如何、近年上海或ハ天津——天津ハ  
昨年マデハ「イギリス」ノ勢力ガ相當ニア  
ツテ「イギリス」人モ多數居リマシタシ、  
又「イギリス」ノ軍艦ヲ以テ銀ヤ銅ノ支那  
ノ貨幣等ヲ「イギリス」本國ニ現送シタノデ  
アル、又最近ハ支那ノ聯銀ノ爲替ノ「レ  
ー」ガ外國ニ對シテ非常ニ安イ爲ニソレヲ  
利用致シマシテ「ドイツ」ノ如キハ相當ニ物  
資ヲ支那デ買集メテ、之ヲ「シベリヤ」鐵道經  
由ニテ本國ニ現送シテ居リマス、若シ日本  
人ガ斯ル物資ヲ買ツテ、内地ニ之ヲ持ツテ  
來ルトスル、而シテ其ノ場合ニ於テ、向フ  
ニアリマスル資金ガ足ラナイ爲メ内地カラ  
之ヲ密送シタトキニハ、取扱ニ於テ軍事上  
必要ナモノデアリマスカラ、之ヲ寬大ニ見

テヤツテ宜カリサウナモノダト思ヒマス、斯カル場合ニハ司法當局ハ果シテ如何ナル態度ヲ以テ之ニ御臨ミニナルノデアルカ、此ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ツテ居リマス、是ハ近來日支間ニ頻々トシテ起ツテ居リマス問題デアリ、且ツ相當ニ重大ナル問題デアリマス故ニ、私ハ昨日ノ聯銀問題ト關聯シテ御伺ヒスルノデアリマス、之ニ對シテ若シ大藏當局ノ御意見ガアリマスルナラバ、大藏當局ノ御意見モ伺ヒタイ、本日ハ主トシテ司法當局ノ之ガ取扱ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイト思ツテ居リマス

○秋山政府委員 第三國ト圓「ブロック」トノ間ニ刑ノ適用上、差ガアルカドウカト云フ御尋ネデアリマスガ、爲替政策ト致シマシテハ、或ハ差ヲ設ケルコトガ必要デアラウカト思ヒマスガ、刑ノ適用ノ上ニ於キマシテハ差ハナイト思ヒマス、唯併シ個々ノ事案ニ付キマシテ、其ノ情狀等ニ於キマシテ、或ハ差ヲ設ケナケレバナラスヤウナ場合ガ生ズルカモ知レマセヌガ、ソレハ犯狀ノ問題デアリマシテ、刑ノ適用ノ上ニ於キマシテハ先ツ差別ガナイ、斯ウ申上ゲテ宜イト思ヒマス

○笠井委員 刑事局長ニモウツ伺ヒマス、然ラバ圓貨ヲ密送シテ軍事上ニ必要ナモノヲ買フトカ云フ風ナ場合ト、日本ニアリマスル外貨、即チ「ポンド」「ドル」「フラン」等デアレバ「ゴールド」ト同ジモノデアリマスガ、之ヲ密送致シマシテ、一般的ニ許シテ居ラナイヤウナ贅澤品等ヲ持チ歸ル場合ニ於キマシテ差ガアルト思フ、之ニ對スル司法當局ノ御見解ハ如何デゴザイマセウカ  
○秋山政府委員 ソレハ要スルニ犯狀ノ問題デアリマシテ、何レガ犯狀重キカト云フ

コトハ、ヤハリ抽象的ノコトデアハツキリ申上ゲルコトガ出來ナイト思ヒマス、圓貨ヲ密送スル場合デアリマシテモ、或ハ外貨ヲ密送スル場合デアリマシテモ、其ノ間ノ色色ノ事情ガアリマセウカラ、ソレ等ノ事情ヲ綜合檢討シテ見マセスケレバ、何レヲ重ク見ルカト云フコトハ申上ゲ兼ネルノデアリマス

○笠井委員 只今ノ刑事局長ノ御答辯ニ依リマス、斯ウ云フ場合ニハ個々ノ事情ニ照シテ考ヘナケレバナラスト云フコトノヤウニ見エマス、次ニ私ガ伺ヒタイコトハ、第七條ノ罰則ニ就テデアツテ之ハ非常ニ過重デアルト思フ、今日日支間ノ旅行者ハ僅カニ二百圓ノミチ行クコトガ許可サレテ居ルガ、是デハ餘リニ輕少デアル、日支ノ政治的及ビ經濟的提携ヲ希望セバ、少クモ多數ノ同胞ヲシテ支那ノ現情ヲ知ラシメバナラス、政治家、實業家、中小商工業者、新聞記者及ビ一般旅行者等多數ノ同胞ヲシテ、支那ノ現狀ヲ觀察セシムル必要ガアルト思ヒマス、然ルニ今日ノ如ク非常ニ峻嚴ナル爲替管理法アリ、且ツ持參金ガ極メテ少額ニ失スル故ニ、國家的目的ノ遂行ハ不可能デアル、其ノ結果日支間ノ經濟提携ヲシテ益、困難ナラシメルコトハ、非常ニ憂慮ニ堪ヘナイ次第デアリマス、一方ニ於テハ國策會社ノ如キモノガ多數アリト雖モ更ニ其ノ成果ヲ擧ゲテ居ラナイコトハ遺憾デアル、故ニ大藏當局ハ爲替管理ノ際ニ於テ、特ニ日支間ヲ往來スル人ニ對シテハ、少シク緩和シテ、取扱フコトガ必要デアルト思フ、而シテ司法當局モ此ノ點ニ注意スベキデアルト思フ、現在旅行者ガ持チ行クコトガ出來ル金額ガ少額ナル爲ニ、或ル場合ニハ之ヲ故意ニ非ズトモ二百圓デハ

少イカラ三百圓、五百圓持ツテ行ク人ガアリ、途中ニ於テ發覺サレタヤウナ場合ガ往アルコトヲ聞イテ居リマス、故ニ本法ヲ適用スル場合ニ於テ、司法當局ハ十分是等ノ點ヲ考慮シテ——事變處理ノ將來ニ對シマシテモ、或ハ我が日本ノ支那ニ對スル經濟的及ビ政治的發展ヲ期スル上ニ於テモ、モウ少シ寛大ナル態度ヲ以テ之ニ臨マレンコトヲ、特ニ司法當局ニ希望スル次第デアル、此ノ點ニ付テ刑事局長ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○秋山政府委員 只今御尋ネノ日支間ヲ往來スル者ガ非常ニ多クナツテ、僅カニ二百圓ノ現金ヲ携帶スルダケデハ容易ニ用ヲ辨ジ得ナイ場合ガアル、然ルニ其ノ額ヲ超エテ、三百圓若シクハ五百圓位ノ超過額ニ依ツテ罰ヲ受ケルコトハ、刑事政策ノ上カラ言ツテモ非常ニ考ヘナケレバナラスノデヤナイカト云フ御趣旨ノヤウニ伺ヒマシタガ、御意見ハ御尤モト思ヒマス、サウ云フ比較的輕微ノ者ニ付キマシテハ出來ルダケ寛大ニ處置ヲ執リタイト考ヘテ居リマス、唯併シ僅カニ二百圓ヲ超過シタカラト申シマシテ、ソレガ犯狀ノ上ニ於キマシテ甚ダ面白クナイト云フヤウナモノニ付キマシテハ、ヤハリ嚴ニ之ヲ罰スル必要モアラウトト思ヒマス、金額ノ多寡如何ニ拘ラズ情ノ輕イモノニ付キマシテハ出來ルダケ寛大ニ處置ヲ執ルコトニ現ニ致シテモ居リマスルシ、將來モ其ノ方針デ處置致シタイト考ヘテ居リマス

○西村委員長 中島君  
○中島(彌)委員 只今原口局長ノ御懇切ナル御説明ニ依リマシテ大體諒承致シマシタガ、サウシマスト海上保險ト商工省ノ輸出

獎勵ト、此ノ度大藏省ノ提出シタル外國爲替損失補償金トノ間ニ於テハ、ダブツテ居ル點ガアル、或ル點デ申シマス、外國爲替損失補償金ダケヲ出セバ全部「カバー」フコトハ言ツテ宜イデセウネ  
○原口政府委員 若シモ只今ノ仰セノヤウニ、外國爲替損失補償金一本建ニシ、サウシテ今日ノ海上保險ナリ或ハ輸出補償ノ目的ヲ達シヨウト云フコトハ、出來ナイコトハナイト思ヒマスガ、此ノ根本ハ貿易、海運、爲替ト云フモノガ一體ニナツテ居リマス、又貿易官廳ガ只今方々ニ分レテ居リマス、左様ナ關係カラ色々ノ貿易ノ各段階——海運ノ段階ニ於テ、保險ノ段階ニ於テ、或ハ爲替ノ段階ニ於テ、或ハ輸出入自身ノ部分ニ於キマシテ、可ナリ複雑ナ取引ノ連續ガ貿易上起ツテ居リマスノデ、其ノ各段階ヲ通ジテ危險ヲ保障スル

(委員長退席、菊池(良)委員長代理着席)  
斯ウ云フ場合ノ實際ノ行政ノ運用ト致シマシテハ、若シ爲替ノ損失金一本立ニナリマス、今日ノ行政機構ノ上カラ申シマシテ、又貿易取引ノ複雑性ト云フ點カラ申シマシテ、實際ノ運用ハ可ナリ複雑ナ込入ツタモノニナルトハ存ジマスガ、理窟ト致シマシテハ爲替ノ補償金テ全部「カバー」シ得ルト云フコトモ言ヒ得ルトハ存ジテ居リマスガ、實際ニ上ハ中々複雑ニナツテ來ルト思ツテ居リマス

○中島(彌)委員 是ハ豫算編成ノ問題デアリマスカラ、其ノ點ダケニ留メテ置キマス、ソレカラ商工省ノ方ノ輸出補償ノ四億ト云フ金額ノ算出ノ根據ト、大藏省ノ五億ト云フ算出ノ根據ト、ドウ云フ點カラ出テ來タノ

デアリマセウカ

○原口政府委員 五億ノ方カラ先ニ申上ガ

マス、實ハ此ノ五億ノ算出ノ根據ヲ私共段  
段研究致シマス場合ニ、一體ドウ云フ損失  
ガアリ得ルカ、是ハ今後色々ナコトガゴザ  
イマスノデ、其ノ損失トシテハ一體ドウ云  
フ問題ガ考ヘ得ルカ、斯ウ云フ所カラ入ツ  
タノデアリマスガ、先ヅ先刻申シマシタ爲  
替相場ノ問題ガ一ツノ大キナ問題トシテ入  
ツテ參リマス、ソレニヤハリ含マレル問題  
デゴザイマスガ、銀行ト云フモノハ御承知  
ノ通り始終外貨ヲ一方ニ賣ツテ一方カラ買  
フ、而モ今日ノ外貨ト云フモノハ一種ノ品  
物デアリ、而モ非常ニ危険ナ品物ニナツテ  
居リマス、何時相場ガ變ルカモ知レヌ、  
隨ヒマシテ銀行トシマシテモ、是ハ商人モ  
同ジデアリマスガ、右デ外貨ガ手ニ入ルト  
直グ左デ餘所ノ人ニ渡シテシマフ、其ノ最  
後ノ尻ガ爲替銀行ニ參リマス、而モ爲替銀  
行ニ來タ其ノ又最後ガ正金銀行アタリニモ  
集マツテ來ル、斯ウ云フコトニナリマシテ、  
所謂銀行ノ持高ト申シマスカ、左様ナモノ  
モ一ツノ要素トシテ考ヘテ居リマス、ソレ  
カラモウ一ツノ要素トシテ、銀行ト云フモ  
ノハ始終輸出爲替ヲ買ツテ居リマス、而モ  
買入レタ輸出爲替ニ付キマシテ、マダ先方  
カラ外貨ヲ貰ハヌ、輸出業者カラハ手形ヲ  
受取ラヌ、斯ウ云フ殘高、輸送中ノモノ、  
輸出手形、是ガ始終億ヲ超エル額デ、相當ゴ  
ザイマス、左様ナモノモ一ツノ根據トシテ  
計算致シマシタ、ソレカラ凍結資金、是ハ  
「ヨーロッパ」或ハ西「アメリカ」關係ガ多イ  
ノデアリマスガ、左様ナモノガ今日一體ド  
ノ位アルカ、是モ如何ナル資金ヲ以テ凍結  
資金ト謂フカト云フコトガ困難デアリマス

ノデ、正確ニハ申上ガ兼ネルノデアリマス  
ガ、大體「ヨーロッパ」戰爭後過去一年餘リ  
ノ經驗ニ依ツテ、左様ナ用途ヲ付ケマシテ、  
サウ云フ點モ參酌致シマシタ、ソレカラ今  
後動員シ得ベキ外貨資産ガドレ位アルカト  
云フ點モ、一ツノ根據ト致シマシタ、左様ナ  
各種ノ項目ヲ拾ヒマシテ、過去ノ實蹟ヲ基  
礎トシテ今後ノ見透シヲ付ケマシテ、其ノ  
中先刻來御話ノヤウニ輸出補償法ト重複ス  
ル部分ガゴザイマス、左様ナモノガドレ位  
アルカト云フコトモ推定致シマスガ、サウ  
云フモノニ付テノ大見當、是ハホンノ腰溜  
的ノモノデアリマスガ、サウ云フモノヲ付  
ケマシテ大體五億圓ト云フ數字ヲ彈キ出シ  
タ譯デアリマス

尙ホ輸出補償法トノ關係ニ付テハ、是ハ  
商工省カラ申上ゲタ方ガ適當ト思マスガ、  
昭和十五年ノ一月カラ十一月マデ、十二  
一箇月ダケ抜ケテ居リマスガ、其ノ實蹟ニ  
依リマス、補償手形ノ割合ハ輸出總額ノ  
五%ニシカ當ツテ居リマセヌ、隨ヒマシテ  
輸出手形ノ中相當部分ト云フカ、大部分ハ  
補償手形ニナツテ居ラス、斯ウ云フ實蹟ニ  
ナツテ居リマス、今後金額モ殖エルコトニ  
ナリマスレバ、段々補償手形ノ割合モ殖エ  
テ行クカト思ツテ居リマスガ、ソレニ致シ  
マシテモ、僅カノ金額デ我が國ノ全部ノ輸  
出手形ヲ補償スル譯ニハ到底參リマセヌカ  
ラ、只今申上ゲマシタヤウナ各種ノ材料カ  
ラ算出シタ次第デアリマス

○中島彌委員 大體諒解致シマシタガ、  
輸出貿易ノ三分位ニ當ル金額ヲ持つテ居  
レバ、輸出手形ヲ補償シ得ルト云フヤウナ  
コトヲ業者ハ言ツテ居ルガ、大體ソナ見  
當デ輸出補償ノ方ヲ見テ居ルノデアリマス

カ

○原口政府委員 商工省ノ方デ今回御審議

ヲ願ツテ居リマスル輸出補償法ノ算出ノ基  
礎ニナツテ居リマス輸出手形ノ見込ハ、四  
箇月ト一應押ヘマシテ、サウシテ其ノ中カ  
ラ或ルモノヲ差引イテ居リマスカラ、結論  
ハ御話ノ所ト大體差異ノナイ見當ヲ押ヘテ  
居ルノデヤナカラウカト思ツテ居リマス  
○中島彌委員 能ク分リマシタ、ソレカ  
ラ外國人關係ノ内地ニ於ケル財産ヲ取締ル  
ト云フヤウナ規定ニナツテ居リマスルガ、  
又サウ云フ必要モ是カラ起ツテ來ルト思ヒ  
マスルガ、斯様ニ致シマスルト日本人ガ在  
外ニ持ツテ居ル所ノ財産ニ對シマシテ、其  
ノ當該國カラ例ヘバ「アメリカ」人ナラ  
「アメリカ」人ノ日本國內ニ於テ持つテ居ル  
所ノ財産ヲ取締ル、相當嚴重ニスルト云フ  
コトニナレバ、米國ニ於ケル日本人ノ財産  
ニ付キマシテ、報復のナ處置ヲ取ラル所  
ノ懸念ハナイノデアリマセウカ、其ノ點ニ  
對シテドウ云フ御考ヘテ持つテ居ラレマセ  
ウカ

○原口政府委員 御懸念ノ點ハ洵ニ御尤モ  
ニ存ジマスガ、當該ノ條文デ申シマス、  
今回ノ改正法案ノ第一條ノ第九號、第十號  
ト云フモノガ、御話ノ點ニ該當シテ居リマ  
ス、實ハ此ノ改正ヲ致シマシタ趣旨ハ、此  
ノ條文ニ依リマシテ相手國ガ本邦ニ對シテ  
同様にコトヲスル、非友誼の行爲ト申シマ  
スルカ、經濟壓迫ト申シマスルカ、サウ云  
フモノニ對スル報復ト云フ趣旨デハゴザイ  
マセヌノデ、況ヤコチカラカラ之ヲ發動シテ  
却テ日本側ノ在外財産ニ付テ報復のニ外國  
カラ對抗策ヲ講ゼラレル、斯様ナ事態ヲ惹  
起スト云フヤウナコトモ、本文ノ趣旨デハ

ゴザイマセヌ、第一ニ此ノ改正デ狙ツテ居  
リマスノハ、若シモ外國ガ我が國ニ對シ  
テ左様ナ非友誼の行爲ニ出ルコトガアレ  
バ、已ムヲ得ズ我が國トシテモ之ニ對スル  
對策トシテ、斯様ナ統制ヲ用ル用意ハ何  
時デモアル、斯ウ云フ態勢ヲ整ヘテ置ク、  
是ガ最モ大ナル狙ヒ所ニナツテ居リマス、之  
ニ依リマシテ、外國カラ左様ナ非友誼の經濟  
壓迫ガ來ナイコトヲ第一ニ狙ツテ居リマス、  
左様ナコトヲ兩國デオ互ヒニヤリ合フト云  
フコトハ、結局兩國ノ損失ニナリマスルノ  
デ、極力左様ナ事態ハ避ケタイト云フ攻撃  
的防禦手段ト申シマスルカ、左様ナ意味デ  
此ノ改正ヲシテ居リマスノデ、隨ヒマシテ  
是ガ運用ニ付キマシテハ、國際情勢ノ推移  
ニ應ジマシテ、最モ慎重ニ致シタイト存ジ  
テ居リマス

○中島彌委員 第一條ノ九號ノ點ハ非常  
ニ重大ナル點ガアリマシテ、外交關係若ク  
ハ貿易關係ニモ非常ニ影響ヲ及ボサウニ  
憂慮ヲサレテ居ツタ點デアリマス、今局長ノ  
御説明ニ依レバ、攻撃的ナ防禦手段デア  
ト申サレタノデアリマスガ、「外國居住者  
本邦内ニ居住スル外國人又ハ命令ノ定ムル  
本邦法人ノ本邦内ニ於テ爲ス財産(事業若ハ  
營業又ハ之ニ對スル出資ヲ含ム以下同ジ)ノ  
取得若ハ處分、預金ノ引出又ハ貸出金ノ  
回收」トナツテ居ツテ、本邦内ニ居住スル外  
國人關係ノ利害ニモ、影響スル點ガ重大デ  
アルト思ヒマスガ、此ノ規定ヲ設ケテガ爲  
ニ利害得失ハ、ドウ云フヤウナ關係ニナツ  
テ來ルデアリマセウカ、「アメリカ」ニ於テ  
日本人ガ持つテ居ル財産ト、日本ニ於テ「ア  
メリカ」人ガ持つテ居ル財産其ノ他ヲ比較  
シテ見マシテ、斯ウ云フ規定ガ發動サレル

トスルナラバ——此ノ規定ガ議會ヲ通過シタ後ニ於キマシテ、在留「アメリカ」人ト云フモノハ、是ハ大變ダ、日本ニ於ケル「アメリカ」人ハ之ニ依ツテ非常ナル攻撃ノ手段ヲ執ラレルノダト云フコトヲ感ジ、向フノ米國官憲モ亦日本ガ斯ウ云フモノヲ拵ヘルノナラ、之ニ對シテ米國內ニ於ケル日本人ノ財産ニ付テモ、相當ノコトヲヤラネバイカヌト云フヤウナコトデ、外交的紛糾ノ端緒ヲ第一條ノ第九號ニ依ツテ生ズルヤウナ憂ヒハナイデセウカ

○原口政府委員 御心配ノ點ハ御尤モト存ジマスガ、此ノ改正案ノ趣旨ガ只今申上ダマシタ點ニアリマスノデ、左様ナコトモ能ク海外ニ傳ヘマシテ、御心配ノキウナ事態ガ外國ニ於テ生ジマセヌ爲ニ、出來ルダケノ措置ヲ執リタイト思ツテ居リマス、尙ホ又此ノ種ノ立法ハ必ズシモ我が國ノ今回ノ改正ガ、前例ガナイト云フモノデモゴザイマセヌノデ、慥カ只今御引例ノ「アメリカ」ニ於キマシテモ、尙ホ其ノ他ノ國ニ於テモ例ハアラウト存ジマスルガ、昨今新聞デ傳ヘラレテ居リマスル所謂資金凍結令、斯ウ云フモノモ、特定ノ國ヲ指定致シマシテ、サウシテ其ノ國及ビ當該國民ノ在米資産ニ付テ或ル種ノ特別ノ制限、統制ヲヤツテ居リマス、無論其ノ目的ハ本改正案ノ狙ヒ所ト違フトハ存ジマスルガ、形ニ現ハレマシタ所ハ非常ニ能ク似テ居リマス、御心配ノ點ニ付キマシテハ能ク誤解ノナイヤウニ、十分説明ヲ致シ手段ヲ執ラウト思ツテ居リマス、尙ホ又萬一ノ場合不幸ニシテ此ノ條文ヲ發動シナケレバナラス、斯ウ云フ場合ニ、一體オ五ニヤリ合ツテドナラニ損失ガ行クノカ、斯ウ云フ御質問ノヤウニ伺ヒマシタデ

スガ、實ハ私共是ハ決シテ特定國ヲ頭ニ置イテ起案ヲ致シテ居リマセヌ、今日ノヤウナ複雑ナ國際情勢ニ於キマシテ、如何ナル國ガ我が國ニ對シテ非友誼的行動ニ出ルカモ知レマセヌ、一方日本側ノ海外ニ於ケル財産ト云フモノモ、今日相當各方面ニゴザイマスノデ、實ハ特別ニドノ國ト云フコトハ毛頭此ノ改正案ニハ考ヘテ居リマセヌ、左様ナ具體的ナ計數モ實ハ今日持ツテ居リマセヌシ、斯ウ云フ種類ノ爲替管理ハ、現行法デハ無論權限ハ與ヘラレテ居リマセヌノデ、左様ナ資料モ今日十分整ツテハ居リマセヌガ、段々此ノ改正案ガ施行ニデモナリマシタナラバ、今御話ノヤウナ資料、材料ノ調査ト云フヤウナコトハ、是ハドウシテモ今日ノ事態ニ於キマシテ、政府ト致シマシテ整ヘテ置カナケレバナラスト思ツテ居リマス

○中島(彌)委員 此ノ點ニ付キマシテハ利害關係ガ非常ニ米國在留同胞ニ對シマシテハ、深刻ナルモノガアラウト思ヒマスカラ、向フモ凍結令ミタヤウナモノヲ出シテ、コチラニ對シテ挑戰的ニヤツテ來テ居ル點モアリマスケレドモ、米國人ガ日本ニ持ツテ居ル財産ト、日本人ガ米國ニ持ツテ居ル財産トノ間ニ於テハ、大變ナ差ガアルダラウト思ヒマスカラ、施行ニ當リマシテハ、十分ニ御留意サレマシテ、ヤラレンコトヲ希望致シマス

容易ニ法ヲ濫ラレルヤウナ心配ガアルノデアリマスルガ、其ノ點ハドウ御考ヘデアリマセウカ、次ニ實際上本邦商社ノ支店タル實質ヲ有スルニモ拘ラズ、法律上外國法人タル者ハ南洋方面ニ於キマシテモ澤山アリマスガ、本邦商社ノ支店ナラバ取締ヲ受ケ、外國法人トスレバ取締ヲ受ケヌト云フコトハ、餘リニ形式的デアツテ、折角今回ノ改正ニ依リマシテ法律ヲ強化シナガラ、大キナ拔ケ道ガ殘ツテ居ルヤウニ感ジマスガ、斯クノ如キ場合ハドウシテ御取締ニナルノデアリマセウカ、此ノ點ニ付テ詳細ナル御説明ヲ願ヒマス

○原口政府委員 御尋ネノ本邦系ノ外國法人、例ヘテ申シマスルト、北米、南米或ハ南洋方面ニ於キマシテ我が國ノ資本ヲ以テ構成サレテハ居リマスルガ、法律上ハ先方ノ國ノ法人ト云フモノガ隨分今日ゴザイマス、左様ナ法人ニ對シテハ本法ハ適用ガゴザイマセヌ、隨ヒマシテ只今御述ベノヤウナ御心配ガ起ルコトト存ジマスガ、實ハ今回ノ改正法案ヲ立案致シマスニ際シマシテ、只今御指摘ノ點ニ付キマシテモ、或ル意味ニ於キマシテ御言葉ノ通り法ノ不備ト云フ謗リヲ免レマセヌノデ、法制局、司法省其ノ他ノ關係當局ト慎重ニ審議ヲ致シマシタガ、如何ニモ是ハ形式的ニハナリマスガ、法律論ト致シマシテ、全然我が法域ノ外ニア

ル法人、而モ外國ノ法律ニ依ツテ出來テ居ル法人、斯ウ云フ形ヲ整ヘラレマス、何トシテモ日本ノ國內法ヲソコマデ延バシテ行クト云フコトハ、是ハコチラデ法律ヲ作レバ宜イヤウナモノデアリマスルガ、從來ノ法律論カラ申シマシテ穩當デアリト云フ

點ガ一點ト、假ニ左様ナ法律ヲ作リマシテモ、愈々罰則ヲ適用スルト云フ場合ニドウスルカ、斯ウ云フ難點モゴザイマシテ、實ハ御言葉ノヤウナ缺點ハゴザイマシタガ、今回ノ立案カラハ除イテ次第デアリマス、殊ニ御指摘ノヤウニ實質ハ日本法人ノ支店デア

ル、而モサウ云フモノガ事實多イノデアリマス、外國ニ於テ色々ノ鑛山ノ仕事ラスケレバ鑛業權ヲ與ヘナイ、特許權ヲ與ヘナイ、斯ウ云フ法制ヲ持ツテ居リマスル國ガ隨分ゴザイマス、左様ナ理由カラ本邦系ノ資本デ出來タ外國法人、斯ウ云フモノガ私共現ニ調ベマシタダケデモ百以上ゴザイマス、尤モ支那ヲ入レマスト是ハ隨分多クナリマス、支那ハ今日特殊ノ事態ニゴザイマスノデ、支那ニハ隨分是ハ多クゴザイマスガ、第三國ニ於キマシテモ可ナリ多數ゴザイマス、ソコドドウ取締ルカ、即チ本邦法人ノ支店ト、斯様ナ本邦系ノ外國法人、是ハ實質的ニハドウシテモ一體ノ取締ヲスル必要ガゴザイマス、段々茲ニ實ハ調ベテ見タノデアリマスガ、大體ニ於テ此ノ資本系統ガ我が國ト繋ガリノゴザイマス日本人或ハ内地ノ日本法人ト、斯ウ云フモノノ子會社ノモノガ大多數デゴザイマス、左様ナ資本系統ヲ通ジマシテ、或ハ送金關係、或ハ有價證券ノ取得、斯ウ云フ今日改正法案ニ於キマシテ取締リ得ル行爲モゴザイマスカラ、大體ニ於キマシテ親會社ヲ通ジ、或ハ關係會社ヲ通ジマシテ、實質的ニハ管理ノ手ヲ延バシテ行クトガ出來ル、此ノ大部分ノ本邦系外國法人ハ、其ノ事業資金ニ付キマシテモ、本邦カラノ送金、斯ウ云フ事態ガ絶エズ起ツテ居リマスノデ、

○原口政府委員 代理退席 委員長着席

○原口政府委員 御尋ネノ本邦系ノ外國法人、例ヘテ申シマスルト、北米、南米或ハ南洋方面ニ於キマシテ我が國ノ資本ヲ以テ構成サレテハ居リマスルガ、法律上ハ先方ノ國ノ法人ト云フモノガ隨分今日ゴザイマス、左様ナ法人ニ對シテハ本法ハ適用ガゴザイマセヌ、隨ヒマシテ只今御述ベノヤウナ御心配ガ起ルコトト存ジマスガ、實ハ今回ノ改正法案ヲ立案致シマスニ際シマシテ、只今御指摘ノ點ニ付キマシテモ、或ル意味ニ於キマシテ御言葉ノ通り法ノ不備ト云フ謗リヲ免レマセヌノデ、法制局、司法省其ノ他ノ關係當局ト慎重ニ審議ヲ致シマシタガ、如何ニモ是ハ形式的ニハナリマスガ、法律論ト致シマシテ、全然我が法域ノ外ニア

ル法人、而モ外國ノ法律ニ依ツテ出來テ居ル法人、斯ウ云フ形ヲ整ヘラレマス、何トシテモ日本ノ國內法ヲソコマデ延バシテ行クト云フコトハ、是ハコチラデ法律ヲ作レバ宜イヤウナモノデアリマスルガ、從來ノ法律論カラ申シマシテ穩當デアリト云フ

ソレヲ通ジテ取縮ルコトモ出來マスシ、尙ホ其ノ生産品ハ是ハ大體ニ於キマシテ日本ガ買フ、是ガ自然デモアリ、又多クノ會社ハソレヲ希望シテ居リマス、我ガ國トシマシテモサウ致シマシテ本邦側ノ海外事業ノ發展ヲ助長スル、斯ウ云フ政策ヲ執ツテ居リマス、左様ナ場合ノ輸入關係ニ於キマシテモ、内地ノ統制法規ニ服スル、斯ウ云フ慣例モゴザイマシテ、御指摘ノヤウナ缺點ハ多少ゴザイマスガ、此ノ改正法案ニ依ツテ、實質上大體不公平ナク取縮リ得ルト、斯ウ存ジテ居リマス

○中島(彌)委員

是ハ重大問題デアリマスガ、大體今申上ゲマシタヤウナ法人ハ、支那、滿洲、南洋其ノ他ニ於キマシテドレ位アルデアリマセウカ、御承知ノ通り外國法人企業カラ日本ノ國內ニ無爲替デ輸入シテ來ル所ノ品物ハ、物動計畫ノ中ニモ入ツテ居リマシテ、是ハ非常ニ現在ノ日本ノ物動計畫及ビ生産擴充計畫ニモ、重大ナル役割ヲ持ツテ居ルデアリマス、是等ニ對スル所ノ取締ニ付キマシテハ、特ニ此ノ爲替管理法律ヲ嚴重ニ強化セラレマシテ、成ベクソレ等ノ生産スルモノヲ日本ニ持ツテ、來サセ、又今局長ガ仰シヤラレマシタヤウニ、生産物ノ輸入關係カラモ取縮マラレル、又親會社ノ關係ヲ通ジテモヤレル、ソレカラ資本系統カラモヤレル、有價證券ノ移動若シクハ送金ト云フヤウナ點カラモヤレルト申サレマシテ、ヤレルヤウナ途ハアリマスケレドモ、法律上此ノ點ガ完備シテ居ナイト、大キナソコニ拔ケ穴ヲ生ジテ參リマシテ、御承知ノ通り國內ニ於テモ、品物ニハ公定價格ガ決マツテ居ルカラ、外國カラ日本へ持ツテ來テモ引合ハスト云フ關係デ、

何時物ヲ外國ニ賣渡スカモ知レマセヌ、併シ物動計畫上物ヲ取ルコトニ付テハ、非常ナ急場ノ場合デアリマスカラ、此ノ點ニ付テハ局長サンモ、法ノ不備デアルト云フコトヲ認メテ、今御答辯アラレマシタノデ、尙ホ今ノ御答ヘノアツタ點カラモ、取縮ガ出來ルデアリマセウケレドモ、此ノ施行細則其ノ他ノ點ニ於キマシテ、十分ニ本法ノ不完全ナル所ヲ補ツテ規定スルヤウナ手段方法ハナイノデアリマセウカ

○原口政府委員

先ツ本邦系外國法人ノ數ニ付テ、御尋ネガゴザイマシタノデ、是ハ非常ニ的確ナ數トハ實ニ申上ゲ兼ネマスガ、一應私共ノ調べ上ゲマシタ所ニ依リマス

ト、支那ニ所在シテ居リマスモノガ、約五百五十バカリゴザイマス、ソレカラ支那以外ノ純粹ノ第三國ニゴザイマスモノガ、百三十バカリゴザイマス、此ノ第三國ノモノノ半數ハ「ハワイ」北米合衆國ニゴザイマス、其ノ他ハ英領ト中南米、大體斯ウ云フ分布ニナツテ居リマス、ソレカラ只今ノ法ノ不備ノ點デアリマスガ、之ニ付キマシテハ尙ホ能ク今後研究致シマス、是ハ全ク法律論カラ參リマシタ點デアリマシテ、從來ノ屬地主義ト申シマスガ、屬地主義ト言ヒマスカ、日本ノ法律ノ法域ニ付テ、從來ノ色々ノ學說ガゴザイマス、昨今ノヤウニ國際關係ガ複雑ニナツテ參リマシテ、外國トノ色々ノ經濟取引ヲ規制スル法律ヲ、各ノ國ニ於テ作ル、斯ウ云フ事態ニナリマス、左様ナ屬地主義或ハ屬地主義ト云フ簡單な法域ヲ以テハ、中々一國ノ利益ト言ヒマスガ、一國ノ自主的ナ地位ヲ守ルト云フコトハ困難ニナリマスノデ、段々將來ニ於キマシテハ、經濟的ニ屬地主義ヲ考ヘル、斯ウシテ

法域ヲ擴メル方面ニモ、研究ヲ致シタイト思ツテ居リマス、尙ホ其ノ間實際ノ必要モゴザイマスカラ、只今御話ノヤウナ缺點ニ付キマシテハ、實行上今回ノ改正ニ依リマス各條文ヲ、適當ニ運用致シマシテ、缺陷ヲ補ヒタイト思ツテ居リマス

○中島(彌)委員

今ノ御答辯ハ洵ニ適切ナ御答辯デアリマシテ、私共ノ考ヘモ現在ノ經濟狀態ヲ律スルニ當リマシテハ、ドウシテモ法理論的ナ屬地主義、屬地主義、デハイカスト思ヒマス、ヤハリ必要ニ應ジ、形式ハ外國法人デアツテモ、實質上ニ於テハ日本法人タルノ性質ヲ具ヘテ居ルモノハ、日本法人ト看做スト云フヤウナ規定ヲ、本項ニ入レテ實ヒヒカツタノデアリマスガ、今回ノ改正上ニ於キマシテ、ソレガナイト致シマスナラバ、經濟的ナ屬地主義ノ方法ニ依ラレマシテ、施行細則其ノ他適用ニ於キマシテ、十分ナル御監督ト又法ノ適用ヲサレントラ希望致シマス、ソレカラ日本ノ爲替ノ管理ノ最モ大ナル爲替管理法ヲ濶リ、若シクハ爲替相場ヲ攪亂スル所ノ要素ト云フモノハ、昔カラ決ツテ、居リマシテ、經濟的ニハ何時モ支那ノ、殊ニ上海ノ圓安ノ現象ト云フモノガ、非常ニ日本ノ爲替相場ニ影響シ、又日本ノ爲替相場ヲ攪亂シ、而シテ是ガ本法爲替管理法ノ管理ニ、最モ痛イ所デアリマスガ、是ガ昔カラ今モ依然トシテ其ノ態度ガ執ラレテ居ル、殊ニ南支ニ於キマシテハ、御承知ノ通りニ舊法幣ガアリ、新法幣ガ出來、軍票ガ國民ノ中ニ入ツテ居ツテ、軍票自體ハヤハリ圓ヲ代表シテ居ルト云ツテモ宜イノデアリマス

○原口政府委員 支那ニ於キマス圓安ノ現象ト云フコトニ付キマシテハ、御話ノ通り私共内地ノ爲替政策ト緊密ナル關聯ヲ執リ、又最モ重大ナル關心ヲ拂フベキ問題ト存ジテ居リマス、御尋ネノ之ニ對スル對策ト致シマシテハ、第一ハ現地ニ於ケル圓ノ資金ノ放出ヲ成ベク抑制スル、斯ウ云フコトガ一番必要トコトト思ツテ居リマスガ、ソレガ爲ニハ先ツ軍事費ノ支辨ヲ最少限度ニ節約

スル、是ガ第一點デアリマス、第二ニハ現地デ色々ノ經濟關係ノ事業、其ノ他公共事業等モゴザイマスシ、文化的ノ事業モゴザイマスガ、斯様ナモノハ何レモ資金ヲ要シマス、資金ノ觀點カラ左様ナル事業ニ對シテ適當ニ統制ヲ加ヘテ行ク、是ガ第二デアリマス、第三ト致シマシテハ支那ニハ多數ノ本邦側ノ銀行ガゴザイマスガ、其ノ在支店舖ニ於キマスル貸出ト云フモノヲ、適當ニ統制致スベキモノト思ツテ居リマス、次ニ支那ニ對スル爲替ノ送金デアリマストカ、或ハ通貨ノ携帶高デアリマストカ、斯様ナモノモ何レモ先方ニ行キマス、圓資金ノ增加ト云フ形ニナツテ現ハレマスノデ、之ヲ適當ニ制限スル、是ガガハリ必要ト思ツテ居リマス、尙ホ又直接經濟關係デハゴザイマセヌガ、他ノ理由モゴザイマシテ渡航ノ制限、支那行ノ旅行者ヲ制限スル、澤山人ガ參リマス、ドウシテモ銘々幾ラカツツノ金ヲ使ヒマスノデ、金圓ノ放出トナリマスカラ、左様ナ各種ノ手段ヲ執リマシテ、現地ニ於ケル圓資金ノ放出ヲ抑制スル、是ガ第一ニ必要ナコトト思ツテ居リマス、次ニ斯様ニシテ放出サレマシタ圓資金ノ回收ヲ成ベク速カニナガラカニ行フ、回收促進ノ手段ガ必要ト思ツテ居リマス、是ガ爲ニハ第一ニ本邦或ハ滿洲等ヨリノ物資ノ供給ヲ増加スル、成ベク多クノ物資ヲ供給致シマシテ、中支デ申シマスレバ軍票ノ價值ヲ維持スル、是ガ爲ニ御承知ノ通り昨年カラ所謂調整料ノ制度ト云フモノヲヤツテ居リマス、是ハマダ實行後時日モ餘リ經過シマセヌノデ、之ニ付テハ色々ノ御議論、御意見モオアリノコトト思ツテ居リマスガ、不完全ナガラ最近調整料制度ト云フモノヲ始

メマシテ、内地カラ假ニ百圓デ出タ品物ヲアチラデ、物ニ依ツテ異リマスガ、百五十圓デ賣ル、五十圓ト云フモノヲ調整料トシテ取ツテ置キマシテ、サウシテアチラカラ輸入スル棉花其ノ他ノモノヲソレデ調整ヲ致シマシテ、安ク内地ヘ入レル、斯様ニシマシテ、現地ノ圓資金ノ價值ヲ維持致シマスト共ニ、内地ノ物價政策ト云フモノトモ調和ヲ取ツテ行ク、此ノ仕組ハ中島サンモ十分御承知ノコトト存ジマスノデ、詳シクハ申上ゲマセヌガ、是デ一番必要ナコトハ現地ノ輸入機構ヲ整備スルト云フコトデアリマシテ、中支デ申シマスト段々機構モ整備サレマシテ、軍票關係ノ配給組合、物動物資關係ノ配給組合、其ノ他ノ配給組合、大體此ノ三本建ニ整備サレテ居リマス、斯様ニシテ本邦及ビ滿洲カラ供給シマシタ物資ガ正當ナ徑路ニ十分餘計ニ流レテ行ク、正當ナ徑路ト申シマスノハ、ソレガ敵地ニ行キマシテ、却テ重慶政府ノ經濟ヲ助ケル、斯ウ云フ風ナ徑路ニ流レマセヌヤウニ、只今申シマシタ配給組合ヲ通シテ、現地ノ圓系通貨ノ價值維持ニ役立チマスヤウニ、内地ノ物資ヲ使ツテ行ク、是ガガハリ必要ト思ツテ居リマス、ソレカラモウ一ツ回收促進ノ手段ト致シマシテ、本邦ノ投下資本ノ收益、斯ウ云フモノノ本邦向送金、或ハ現地ニ於キマスル銀行預金ノ獎勵、之ニ付キマシテハ隨分支那デモ從來事變公債ヲ賣ツテ居リマスシ、日本勸業銀行デ扱ツテ居リマス色々ノ債券類、斯ウ云フモノモ現地ニ於テ可ナリ賣レテ居リマス、左様ニシマシテ一方ニ於キマシテ圓資金ノ放出ヲ抑制シマシテ、必要已ムラ得ズ出テ行ツタモノハ成ベク早く回收スル、此ノ外ニ中支ニ於キマシテハ成

ベク色々ノ物資ノ取引ヲ軍票建ニスル、圓建ニシテ、流通面ヲ擴大シテ行ク、此ノ爲ニ色々ノ方策ヲ講ジテ居リマス、例ヘバ國策會社等ノ軍票ノ收入、上海ノ「バス」會社ノ切符、其ノ他鐵道會社ノ切符、斯ウ云フモノモ軍票ニ對シテノ賣ル、斯ウ云フ方策モ併セ行ヒマシテ、軍票ノ流通面ヲ漸次擴大致シテ居ルノデアリマス、斯様ナ方法ニ依リマシテ今日ニ於テハ一時ト比較致シマシテ、支那ニ於ケル圓安ノ現象ト云フモノノ、我が國ノ爲替管理ニ及ボシテ居リマシタ惡イ影響ト云フモノハ、段々ト減少シテ居ル次第デアリマスルガ、今日尙ホ此ノ點ハ中々面倒ナ問題ニナツテ居リマス、今後トモニ事態ノ推移ニ應ジマシテ、適切ナル方策ヲ講ジテ行キタイト思ツテ居リマス

○中島(彌)委員 今マデ御説明ノアリマシタ中デハ、最モ御懇切ナ御答辯デ、満足致シタノデアリマスガ、實際行ツテ見マシテ、非常ナ食違ヒガアルノデアリマシテ、御承知ノ通り此處ニ支那ノ店ガアツテ、隣リニ日本ノ店ガアル、其ノ日本ノ店ダケニ對シテハ公定價格デ賣ラシテ居ルノデ、日本ノ品物ヲ支那ノ店ニ持ツテ行ツテ、三倍ニ賣ツテ居ルト云フヤウナコトモ、吾々ハ行ツテ見テ來テ居リマスノデ、日本ノ品物ガ重慶政府マデモドン／＼行ツテ居ルト云フコトモアルヤウナ状態ニナツテ居リマス、向フニ於ケル所ノ取締ガ御承知ノ通りノ混亂状態ニアルノデ、中々容易デナイノデアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテ十分ニ合理的ナ方法ヲ講ジテ戴キタイ、調整制度ノ問題ニ付キマシテモ、私共視察シテ參ツタノデアリマスケレドモ、是デ却テ物資ノ交流ガ妨ガラレテ、商賣人ガ手ヲ束ネテ仕事

ヲセヌト云フヤウナ點モアルヤウニモ聞イテ居ルノデアリマス、中々是ハ難カシイ狀況モアリマシテ、日本ガ物デ戰爭シテ行ク、軍票ハヤハリ物ヲ以テ裏付ケテ行カケレバ、軍票ノ價值ガ維持サレナイ、物ヲ出スコトハ内地ノ血ノ一滴ト云フヤウナ國家生活ニ影響スル、是ハ内外ヲ通ジテノ日本ノ物價政策、支那ニ於ケル軍票ノ價值維持、戰爭ノ遂行、軍費ノ支拂ト云フコトカラ達觀ヲシテ見マス、是ハ非常ニ大キナ重大ナ點ガアルノデアリマシテ、此ノ状態ヲ上手ニ整備ヲシテ行クニアラズンバ、爲替管理、圓安ハ固ヨリ、延イテハ内地ノ物價ニモ至大ナル影響ヲ及ボスノデアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテハ十分ニ御研究サレマシテ、現在ニ於キマスル幾多ノ之ニ對スル非難、不平等モ、内外商人ノ間ニ於テハアルヤウデアリマスカラ、私マダ質問シタイコトハ澤山アリマスケレドモ、大體此ノ爲替ニ關スル限リニ於キマシテハ、此ノ程度ヲ以テ質問ヲ打切りタイト思ヒマスルガ、此ノ點ハ重大デアリマスルカラ、十分ニ御研究サレマシテ、實際ニ即サレマシタ制度ヲ御施設アランコトヲ希望シテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○太田(理)委員 先程中島君ノ御質問ニ對スル爲替局長ノ御説明中、輸出爲替損失補償ノ基準トナルモノハ爲替ノ持チ、詰リ「カパー」ノ未濟ノ損失デアルト云フコトヲ承ツタノデアリマスガ、其ノ爲替ノ持チハ、爲替銀行カラ一々當局ニ報告シテ居ルノデアリマセウカ、ソレトモ「ドル」「ポンド」總テラ通ジテ、或ル限度マデヤルト云フ必要ハナイト云フコトニナツテ居リマスガ、多少事務的ノ點デゴザイマスガ、一點伺ヒタイノ

デアリマス  
○原口政府委員 毎日詳細ナル報告ヲ取ツテ居リマス

○太田(理)委員 甚ダ事務的ニ互ルヤウデアリマスガ、損失補償ノ場合モ、其ノ時「レ」ト「レ」デ政府ガ肩替リスルノデアリマスカ、或ハ爲替會議デ決ツタ相場ニ依ツテ損失補償ヲスルノデアリマスカ

○原口政府委員 我先刻中島サンノ御質問ニ對シマシテ、爲替銀行ノ持チノコトヲ、五億圓ノ歳出ノ基礎トナツテ居ル一ツノ項目トシテ申シマシタ、昨今ノヤウニ外貨ノ處分ガ中々圓滑ニ行カナイ時期ニナリマスト、是ハ時ニ依ツテ往々違ヒマスルガ、時ニ可ナリ一時的ニ多ク持高ガアルコトガゴザイマス、左様ナモノヲ今回ノ豫算外國庫ノ負擔ノ契約ニ依リマシテ、如何ナル場合ニ於テモ全部ヲ政府ガ損失ヲ負擔スルト云フヤウナ計算ヲ實ハヤツテ居リマセヌ、時ニ依リマシテ是ハ非常ナ大キナ金額ニナリマス、隨ヒマシテドウ云フ「レ」ト「レ」デ以テソレヲ補償スルカト云フ點ニ付キマシテモ、實ハ私少シ立入ツタ御話ニナリマシタガ、左様ナ場合ニハソレガ何處カラ出テ來タ、ドウ云フ原因カラ起ツテ來タモノデアアルカト云フコトニ重キヲ置キマシテ、サウシテ左様ナモノハドウシテモアノ契約ニ依ツテ政府ガ損失ヲ負擔シナケレバイカスト云フコトニナリマシタナラバ、大體ニ於キマシテ全額補償ト申シマスルカ、其ノ時「レ」ト「レ」ト前ノ契約ノ時「レ」ト「レ」ト開キハ全部取リマスガ、其ノ原因ガ政府ガ面倒ヲ見ナケレバイカス、斯ウ云フモノカラ生ジタモノデアレバ、大體ノ仕組トシテハ、全部ノ損失ヲアノ契約ニ依ツテ負擔シタイト思

ツテ居リマス  
○西村委員長 森田福市君ヨリ質問ノ通告ガアリマスガ、缺席シテ其ノ席ニ居ラレヌヤウデ、今見ニヤツテ居リマス、モウ暫ク待ツテ貰ヒタイト思ヒマス、森田君ノ質問デ終ル譯デスガ、若シ見當ラナケレバ權利ヲ拋棄シタモノト認メマス——大分探シマシタケレドモ見當ラヌヤウデアリマス、仍テ森田君ハ質問ノ權利ヲ拋棄サレタモノトシテ取扱ヒマス、御異議アリマセヌカ

○西村委員長 然ラバ左様致シマス、サウスルト是デ質問ハ全部終了致シマシタ  
本案ニ付テハ色々ノ關係上明日ノ午後ニ採決致シタイト思ヒマス、本日ノ午後ハ不動産融資及損失補償法中改正法律案、産業組合中央金庫特別融通及損失補償法中改正法律案、臨時資金調整法中改正法律案、之ヲ一括シテ議題ニ上セテ、質問ヲ進メルコトニ致シマス、時間モ參ツタヤウデアリマスカラ、午前ハ是デ休憩致シマシテ、午後ハ引續キ一時カラ開會スルコトニ致シマス  
正午休憩

午後二時開議  
○西村委員長 開會致シマス  
○木村(淺)委員 只今議題トナツテ居リマスル三件ニ附加ヘマシテ、兌換銀行券條例ノ臨時特例ニ關スル法律案外三件ヲ一括シテ議題トセラレンコトヲ希望致シマス  
○西村委員長 サウスルト殘餘ノ案件ヲ悉ク議題ニセヨト云フ御發議デスネ——諸君ニ御諮リ致シマス、今ノ御發議ニ御異議アリマセヌカ

○西村委員長 御異議ナイヤウデアリマス、仍テ殘餘ノ四案ヲ全部議題ト致シマス、是ヨリ通告順ニ依リ質問ヲ許シマス——武田德三郎君

○武田(德)委員 私ハ主トシテ兌換銀行券條例ノ臨時特例ニ關スル法律案ニ對シテ御伺ヒテ致シタイト思ヒマス、最近兌換券ノ發行狀況ヲ見ルト、年々非常ニ多額ノ發行高ガアルヤウデアリマス、日支事變ガ始マツテ以來、毎年二億、又ココ一兩年ハ一年ニ四億位ツツ兌換券ガ發行サレテ居ルノデアリマス、殊ニ昨年即チ昭和十五年ヲ十四年ニ比ベテ見マスト、著シク發行高ガ増シテ居ルノデアリマス、即チ十億以上ノ増加額ニ平均發行高ニ於テナツテ居ルト思ヒマス、之ヲ最高發行高ニ比較シテ見マシテモ、稍、ソレニ類シタ發行高ノ増嵩ノ傾向ヲ見テ居ルノデアリマス、此ノ度ノ改正案ヲ御提出ニナツタノモ、要スルニ斯様ナ事實ニ鑑ミラレテ、之ヲ抑制スルト云フ意味モ、相當強イ原因ノ一ツニナツテ居ルト思フノデアリマス、勿論最近保證準備ガ二十億、正貨準備ガ七億デ、詰リ二十七億ノ平常ノ發行高トナルベキ所ヘ、平均發行高ニ於テモ三十六億ニモナリ、最高發行高ハ殆ド五十億ニナツテ居ルト云フ事實デアリマシテ、限外發行ガ殆ド常習的ニナツテ居ルノデ、ソレ等ニ鑑ミラレテ、此ノ改正案ヲ立案セラレタコトモ勿論デアリマセウガ、一面ニ於テハ私ハ發行高ノ餘リニ急激ニ増加シテ居ルコトニ對シテ、之ヲ「チェック」シヨウト云フ考ヘモ、此ノ立案ノ中ニアルト思フノデアリマスガ、此ノ點如何デアリマセウカ、ソレカラ斯様ニ兩三年來著シク發行高ノ増加シタル原因ハ、何レ

ニアルカト云フコトニ關シテ大藏當局ノ御見解ヲ伺ヒタイノデアリマス、物價騰貴ノ割合ヲ見マスト、左程甚ダシイ騰貴ヲ見ナイノデアリマス、一昨年マデハ相當著シキ物價騰貴ヲ見タノデアリマスガ、昨年カラ本年ニ互ツテハ微騰ノ程度デ、ソレ程甚ダシキ増加ヲ見ナイノデアリマス、然ルニドウモ發行高ノ方ハ非常ニ多クナツテ居リマス、私ノ見タ所デハ發行高ノ方デハ昭和十二年ノ百二十八ニ對シテ十四年ガ二百七十六ト云フヤウナ非常ニ急激ニ増加ノ數ヲ示シテ居リマス、然ルニ物價ノ指數ハ、十二年即チ戰爭ノ起リマシタ年ガ二百五十八デ、昨十五年ガ三百九ニナツテ居リ、多少上ツテ居リマスカレドモ、兌換券ノ發行高ノ指數ト比ベマスト、其ノ間ニ非常ニ差ガアルノデアリマス、サウスルト價格騰貴ノ爲ニ兌換券ガ増發サレタト云フコトモ、是ハ適當ナ解釋トモナラヌヤウニ思ハレル、然ラバ、生産數ハドウカト云フト、是レ亦多少ハ殖エテ居リマスカレドモ、殆ド餘リ多クノ増加ヲ見ナイ、殊ニ昨年ノ下半年ニ至リマシテ、御承知ノ通りニ生産高ハ寧ろ減ツテ居ルト言ウテ宜イヤウナ、實ニ悲シムベキ狀態デアリマス、ソレニ近來生産ノ擴充ト云フ點ニ向ツテ、政府モ全力ヲ注イデ御盡力ニナリ、又當院ニ於テモ屢、其ノ事ガ論ゼラレテ居ルノデアリマス、生産數ノ少イコトハ、一面ニ取引數ノ少イコトヲ示スモノデアリマスカラ、物價モ餘リ上ラズ、生産指數モ寧ろ足踏ノ狀態デアリ、隨テ商品ノ取引モ餘リ殖エナイ、然ルニ兌換券ノ發行高ノミガ急激ニ増加スルト云フコトハ、如何ニモ私共ハ分ラナイコトデアリ、又隨テ是ハ國家ノ爲ニ憂フベキ事柄デアルト思フノデアリマス、

其ノ原因ヲ先ヅ明カニスルト云フコトガ、是ノ救済ノ第一ノ手段デハナイカト考ヘマスルノデ、之ニ向ツテ政府ノ御見解ヲ伺ヒタイト存ジマス

○相田政府委員 先ヅ第一ノ御質問ハ、兌換銀行券ノ發行高ヲ抑制スルト云フ考ヘガ、今回ノ兌換銀行券發行制度改正案ノ要素ニナツテ居ルカドウカト云フ御尋ネノヤウニ伺ツタノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ此ノ改正ノ制度ニ依リマシテ、最高發行限度ヲ決メマス時ニハ、各般ノ金融經濟情勢ヲ勘案シ、且ツ政府ノ金融經濟ニ關スル政策トモ配合ハセテ之ヲ決定スルノデアリマスカラ、其ノ意味ニ於テ通貨ノ量ヲ適當ニ調整スルト云フ考ヘハ、勿論入ツテ居ル譯デアリマス、尙ホ他ノ一般ノ金融通貨政策トモ相俟ツテ、通貨ノ量ガ國民經濟ノ活動ニ比較シマシテ過度ニナリマセヌヤウニ、通貨ノ價值、信用ノ維持ヲ圖ルコトヲ目標ニシマシテ、此ノ發行制度ノ運用ノミナラズ、他ノ各般ノ政策モ實行シテ行キタイト考ヘテ居リマス、次ニ兌換銀行券ノ増加ノ原因ニ付キマシテ、ドウ考ヘルカト云フ御尋ネデゴザイマス、事變以來兌換銀行券ノ發行高ガ漸次増加シテ參リマシタコトハ、只今ノ仰セノ通デアリマシテ、從來其ノ主要ナル原因トシテ考ヘラレテ居リマスモノハ、第一ニハ軍事費ノ支出ガ増大シマシテ、政府資金ノ撒布ガ巨額ニ上リ、殊ニ軍需品關係會社ノ労働人員ノ増加竝ニ賃銀ノ昂騰ニ依リマシテ、現金通貨ノ需要ガ増大シテ、其ノ市場滯留ガ多量ニ上ツテ居ルコトガ一ツデアルト存ゼラレマス、第二ニハ物資ノ生産ノ關係デアリマスガ、只今御話ノヤウナ事情モ最近ニ於テハ或ハアルカモ知レマセマスガ、

事變以來ノコトヲ考ヘテ見マスルト、何ト云フモノモ物資ノ生産ノ増加、其ノ取引ニ伴フ通貨ノ需要ガ増大シテ居ルコトハ否ムコトガ出來ナイト思フノデアリマス、第三ニハ朝鮮銀行及ビ臺灣銀行、兩行ノ銀行券ノ準備ニ充當セラレマスル兌換銀行券ノ額ガ、相當増加シテ居ルコトデゴザイマス、サウ云フヤウナ原因デ漸次兌換銀行券ノ發行高ハ増加シテ參ツタノデアリマス、特ニ昨年ニ入りマシテカラ其ノ増加ガ顯著デアルト云フ原因ハ、大體先ヅ第一ニハ歐洲戰爭ノ影響ニ依リマシテ、海外輸入物資竝ニ生絲等ノ輸出物資ノ價格騰貴ノ爲ニ、直接間接ニ物價高ヲ來シマシテ、ソレダケ通貨ノ需要ガ殖エテ居ルト云フコト、第二ニハ米ヤ藪ト云ツタ農産物ノ價格ノ昂騰ニ因リマシテ、農村方面ニ流出シテ居リマスル通貨ノ相當部分ガ、其ノ儘農村ニ滯留シテ居ルヤウニ見ラレルト云フコト、第三ニハ特ニ最モ大キナ原因トシテ考ヘナケレバナリマセヌコトハ、現金取引ノ一般ニ増加シテ參リマシタコトデアリマス、米トカ炭トカ云フ生活必需品ノ購入ニモ現金ヲ必要トスルコトガ段段多クナツテ參リマシタ爲ニ、家庭ニ於キマシテモ現金ノ手持高ガ多クナケレバナラスヤウニナツテ來テ居リマスシ、商人間ノ商品ノ買付ニ致シマシテモ、現金ノ授受ノ行ハレルモノガ多イト云フヤウナ場合ニ、一般的ニ現金取引ノ増加シテ來テ居リマスコトガ、兌換銀行券發行高ノ非常ニ殖エテ來テ居リマス重要ナル原因デハナイカト考ヘル次第デゴザイマス

○武田委員 只今ノ銀行局長ノ御説明ハ大體諒承致シマシタ、今御説明ノ事實ハ其ノ通りデアルト思ヒマスガ、併シ其ノ中デ例

ヘバ軍ノ買上ニ對スル資金ノ撒布ガ多クナツタト云フコトモ事實デアリマセウシ、隨テ又工場ノ労働者ガ多クナツテ、労働賃ノ支拂等ニ現金ヲ要スルヤウニナツタト云フコトモ是モ事實タト認メマス、又農産物ノ價格ガ高クナツタ爲ニ、農村ヘ落チタ金ガ其ノ儘ニ滯留シテ居ルト云フコトモ認メルノデアリマス、併シソレ等ハ分析シテ見レバサウデアリマスガ、政府ノ豫定サレ希望サレテ居ル通りニ、ソレ等ガ貯蓄トナツテ還流シ、公債消化ニ向ケラレルト云フコトデアレバ、私ハソレガ兌換券増發ノ一時的ノ原因ニナルト致シマシテモ、絶エズ斯様

ニ前年度ニ比較シテ十億圓以上ノ兌換券、平常増發シナケレバナラス原因トハ認メラレナイノデナイカ、要スルニ其ノ労働者ノ手ニ落チタ金、若クハ農村ニ落チタ金ガ金融機關ニ還流シナイト云フコトガ、本當ノ原因デヤナイカト思ヒマス、若シ左様ナ、現金支拂ツタ金ガ還流シナイト云フコトデアレバ、公債ノ消化ハ絶對不可能ト云フ結論ニナルノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、ソレカラ今ノ御説明ニナツタ事實ハ認メマスケレドモ、更ニ其ノ働キノ上カラ見レバ、ソレガ還流シテ公債消化ニ向フダケノ働キガ出來ヌト云フコトハ、本當ノ原因ト見ルベキモノデヤナイカト、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、如何デゴザイマスカ、更ニモウ一ツハ一昨年來閣取引ガ非常ニ盛ニナツテ、普通ニ大キナ取引ハ言フマデモナク小切手デヤリマス、閣取引トナレバドウシテモ現金取引デナケレバナラナイノデ、是ガ兌換券増發ノ事實上ノ重大ナル原因ヲ成シテ居ルノデヤナイカト、私ハ見テ居ルノデアリマスガ、今ノ御

説明ニ最モ重大ナル一ツノ「ファクター」ダト思フモノガ落チテ居ルノハ、ドウ云フ譯デアラウカト私ハ思フノデマスガ、寧ロ或ハ大藏當局ハソレヲ御承知デアルケレドモ、現ニ角閣取引ガ多クナツタト云フ事實ヲ裏書スルヤウナコトヲ惧レテ、今ノ原因ノ中ニ御數ヘニナラヌノデハナイカ、併シ事實ハ事實トシテ經濟ノ問題ハ其ノ事實ニ基イテ互ヒニ考察シナイト、本當ノ救済策ハ立テラレヌノデヤナイカト考ヘマスカラ、此ノ二點ニ對シテ銀行局長ノ御意見ヲ今一應御伺ヒ致シマス

○相田政府委員 政府資金ノ撒布等ニ依リマシテ、市場ニ出マシタ通貨ノ還流ガ悪ク、其ノ爲ニ公債ノ消化モ十分ニ行カナクナル虞ガアリハセヌカ、兌換券ノ發行高ノ増加ガ其ノ還流ガ悪イ、金融機關ニ資金ノ集マツテ來ルコトガ悪イノガ最大ノ原因デハナイカト云フ點ニ付テ考ヘテ見マスルト、撒布サレタ資金ガ還流致シマスマデニハ相當ノ時日ヲ要シマスルシ、兎ニ角先程申シマシタヤウニ事情ニ依リマシテ、世間デ需要サレル通貨ノ分量ト云フモノガ殖エテ居ルノデアリマスカラシテ、自然發行高ガ餘計ニナルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイノデアリマス、併シ其ノ爲ニ公債ノ消化ガ悪クナルト云フヤウナコトガアツテハ、是ハ勿論イケマセヌ、出來得ル限リ撒布サレタ資金ハ之ヲ貯蓄獎勵ニ依リマシテ、金融機關ニ集メ、或ハ直接公債ヲ賣出スコトニ依リマシテ、之ヲ集メルト云フヤウナ方法デ、出來得ル限リ之ヲ公債消化、其ノ他生産力擴充ニ必要ナル方面ニ是ガ廻ハリ得ルヤウニ、各種ノ金融政策ハヤツテ行カナケレバナラスモノト存ジ、又サウ云フ風ニ現ニ

努力ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、公債ノ消化ガ悪イ、ソレガ兌換銀行券ノ發行高ノ殖エテ居ル原因ニナツテ居ルノデハナイカト云フコトモ、屢、論ゼラレルノデアリマスガ、併シ是ハ先程申シマシタヤウナ原因ニ依ツテ通貨ノ所定量ガ殖エタ爲ニ、ソレダケ何ト言ヒマスカ、通貨ノ需要ガ殖エタ爲ニソレダケ公債消化ノ方ニ廻ハル金ガ少ナカツタト云フ風ニ其ノ點ハ言ヘルト思フノデアリマス、全體トシテ見マシテ、取引方法ノ變化ト云フコトガ一番大キナ發行高增加ノ原因ダト思ハレマスノデ、此ノ點ニ付キマシテ、今後漸次改善ヲ加ヘテ行キマ

スルナラバ、即チ現金取引ノ今日多クナツテ居リマスル原因、取引ノ機構ガ從來ノ自由經濟カラシテ、段々ニ統制主義ニ變ツテ來ツツアル此ノ過渡期ノ現象トシテ、特ニ現金取引ト云フモノガ多クナツテ居ルト思ハレマスノデ、此ノ取引ノ機構ガ更ニ改善セラレマシテ、信用取引ガ又多クナルト云フコトニ之ヲ向ケテ行キマスルナラバ、將來此ノ方面カラノ原因ニ依ル通貨ノ増發ト云フコトハ、大イニ之ヲ「チエック」シ得ルモノデハナイカト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ閣取引ノ横行ガ兌換銀行券發行高ノ増加シテ居ル大キナ原因デハナイカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、物價政策ノ徹底ニ依リマシテ、閣取引モ非常ニ少クナリツツアルヤウニ思ハレマス、私ガ先程現金取引ノ多クナツタト云フコトノ原因ノ一ツトシテ申上ゲマシタガ、是ハ別ニ閣取引ガ多クナツタカラト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマセスガ、閣取引ト云フモノガ假ニ原因デアツタトシマシテモ、此ノ閣取引ト云フモノハ漸次取締ノ勵行ニ依ツ

テ少クナツテ居リマスルシ、今後一層サウ云フコトガナクナルノデハナイカト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○武田委員 今ノ銀行局長ノ御説明ヲ承ルト、現金取引ガ餘計ニナツタ爲ニ、兌換券ノ増發ニナツタノデアリガ、併シソレハ統制經濟ノ過渡ノ現象デアツテ已ムヲ得ナイノデアツテ、何レ將來ニハ左様ナルコトハ漸次改善サレルデアラウト云フヤウナ意味ノ御答辯ヲ承リマシタガ、果シテサウ云フ御見込デアリマス、今日ノ此ノ澤山ノ通貨ノ流通モ左程危險性ガナイ、先ヅソレハ當然ノ結果ダ、將來ハ適當ニ「チエック」ヲサレル見込ガ十分アルト云フ御考ヘデ、詰リ是ハ所謂法案ニアル如ク眞ニ臨時特例ニ關スルダケノモノデアツテ、將來ハ又、尤モ此ノ法案ニモ一年限リトアリマスカラ、此ノ法案ノ趣旨カラ言ヘバ、眞ニ一時的臨時的ノモノト云フ法律案ニ相違ナイノデアリマスガ、遠カラザル將來ニ於テ、又「ノルマル」ナ状態ニ復シ得ルト云フ御見込ノ下ニ、御立案ニナツタノデアリマス、更ニ同ジ意味ノコトヲ他ノ方面カラ、モウ一ツ伺ツテ置キタイノデアリマス、今日ハ名義ハ兌換銀行券トアリマスケレドモ、申スマデモナク決シテ兌換銀行券デハナイノデアリマス、今日ハ事實上最早數年來管理通貨ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ歐米ノ方面ノ學者、實際家ノ意見ノ趨勢カラ見マシテモ、我が國ニ於ケル經濟界ノ實情、竝ニ評論家ナドノ意見ヲ見マシテモ、ドウシテモ將來ハ管理通貨ニナル傾向ガアルト云フコトガ、殆ド常識ノヤウニナツテ居ルト私ハ信ズルノデアリマス、是ハ私モ亦管理通貨ハ、最早必然ノ運命ダト云フヤウナ考

ヘ方ヲシテ居ルノデアリマス、大藏當局ニハ、キハリ是ハ法律ノ通り、一年ノ内カ二年ノ内カ知リマセスガ、又完全ナ兌換銀行券トシテ存置スル時ガ、遠カラズ來ルト云フ御見込ノ下ニ、此ノ立案ヲサレテ居ルノデアリマセウカ、又隨テサウ云フ兌換ノ方法ニ依ツテ發行高ノ増額スルコトモ「チエック」出來ルヤウナ時代ガ遠カラズ來ルト云フ御見込デアリマセウカ其ノ點一ツ伺ヒマス

○相田政府委員 私ガ先程申上ゲマシタノハ、此ノ經濟統制ノ過渡ノ現象トシテ、現金取引ガ多クナツテ居ルガ、此ノ原因ニ依ル通貨ノ増發ト云フコトハ、是ハ取引機構ガ又新シイ制度ノ下ニ整備シテ來レバ、防ガレデアラウト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、此ノ兌換銀行券ノ發行制度其ノモノニ付キマシテハ、此ノ法案ハ仰セ、通リ臨時立法デアリマス、併シ將來更ニ恆久的ノ立法ヲ致シマス場合ニ於テ、果シテ從來ノヤウナ正貨準備ト云フモノノ増減ニ依リマシテ、通貨量及ビ通貨ノ價值ヲ、自動的ニ調節スルト云フ建前ノ通貨制度ガ、執リ得ルカドウカ、其ノ點ハ自ラ其ノ時ノ情勢ノ如何ニ依ルコトト思ヒマス、併シ私ガ考ヘル所ニ依リマスレバ、此ノ改正案ニ盛ツテアリマスヤウナ發行制度ノ思想、只今御話ノ中ニモアリマシタ管理通貨ノ思想ト云フモノハ、今後ノ通貨制度トシテハ、寧ロソレガ主體ニナツテ行クノデハナイカト、私共モ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○武田委員 次ニ伺ヒタイコトハ、此ノ法案ニモアリマスル如ク、最高發行額ヲ決メルノハ、法律ニ依ラズシテ、大藏大臣ニ委任サルコトニナルヤウデアリマスガ、其

合ノ標準ハ、如何ナルモノヲ標準トサルル御見込デアリマセウカ、此ノ點一ツ伺ヒタイ

○相田政府委員 要スルニ大キク抽象的ニ申シマスレバ、通貨ノ健全性ヲ保持スルト同時ニ、經濟界ノ必要トスル通貨量ヲ圓滑ニ供給スルト云コトヲ目標ト致シテ決定スルノデアリマス、而シテ其ノ場合ニ於キマシテハ、内外諸般ノ經濟金融事情ト云フモノヲ十分研究シマシテ、之ニ照應スルヤウニ、且ツ政府ノ各般ノ經濟金融政策ト配合ハセテ、其ノ發行限度ヲ決メルノデアルト申上ゲナケレバナラスノデアリマス、此ノ内外諸般ノ經濟金融情勢ト云フ中ニハ、生産、配給、物價、國ノ財政、金融等、一般經濟取引活動ノ狀況ニ付テ考慮スルノハ勿論、特ニ通貨ノ狀況ニ就中銀行券發行ノ趨勢ニ十分意ヲ用ヒマシテ、且ツ是ガ徹底ニ當リマシテハ、事柄ノ重要性ニ鑑ミテ、特ニ慎重ナル取扱ヲ致スベキモノト考ヘテ居リマス

○武田委員 私ハ只今ノ御答辯ニハ甚ダ満足致シ兼ネマス、元來貨幣ノ發行ト云フコトハ、國民生活ニ重大ナル影響ノアルコトデアツテ、本來申セバドウシテモ是ハ法律ニ其ノ標準ヲ規定スベキモノデアルト私ハ思フノデアリマス、現ニ御承知ノ通り「フランス」ノ如キハ、多年ノ間最高發行額制度ヲ執ツテ居リマシタガ、ソレハ皆法律ヲ規定ヲ致シテ居ツタノデアリマス、是ハ當然サウアルベキコトダト思フノデアリマスガ、併シ今日ハ戰時デモアリマシテ、急速ニ事態ニ即應スルヤウニ機敏ナ措置ヲ執ルコトヲ要スルノデアリマスカラ、私共モ此ノ發行額ヲ決定スル權能ヲ大藏大臣ニ委任スル

コトニ、敢テ反對スルモノデアリマセヌガ、ソレニハ元來法律ニ規定スベキモノヲ大藏大臣ニ委任スルノデアリマスカラ、其ノ條件ト云フモノハ、ハツキリ定メテ置イテ願ハナケレバナラヌ、今銀行局長ノ仰シヤル如クニ、經濟上ノ諸般ノ情勢ト配合ハスト云フコトハ、當然ナコトデアリマスケレドモ、サウ云フ空漠ナ、抽象的ナコトデアハ、甚ダ不満足ダト申上ゲナケレバナラナイシ、又左様ナ抽象的ナコトシカ御示シニナラスト云フコトハ、如何ナルモノデアラウカト私ハ思フデアリマス、或ハ前年度ノ最高發行額ヲ標準トシテ、之ニ向ツテ斯ウ云フ對酌ヲ加ヘルトカ、或ハ前年ノ平均發行額ヲ標準トシテ、ドウ云フ場合ニハソレニドウ云フ割増ヲスルカ、ドウ云フ場合ニハ之ヲ割下

吾立法ニ參與スル者ト致シマシテモ、先程來申上ゲタ通りニ、本來ナラバ是ハ法律ニ規定スベキ事柄デアルト私共ハ信ジマスル見地カラ、モウ少シク具體的ニ其ノ標準ヲ御示シニナラヌデハ、ドウモ満足致シ兼ねルヤウナ氣ガスルノデアリマスガ、ドウ云フ御見解デアリマセウカ

○相田政府委員 御尋ネノ御趣旨ハ洵ニ御尤デアリマシテ、大藏大臣ガ發行限度ヲ決定スルコトハ、是ハ見方ニ依リマシテハ或ハ何ヲ基準ニシテ大藏大臣ガ決メルノデアルカ、サウ云フ大キナ權限ヲ與ヘルト云フコトニ付テ不安ガアル、ソコデ何カ之ニ一定ノ基準ヲ與ヘルコトガ出來ナイダラウカト云フコトハ、實ハ私共モ色々研究ヲシテ見タノデアリマスガ、今日ノ經濟界ノ趨勢ニ鑑ミマシテ、適當ニ基準ヲ法文ノ上デ明定スルト云フコトハ、實際上困難デゴザイマシテ、之ヲ強ヒテ法定スルト致シマシテモ、或ハ基準タル實際上ノ意味ヲ喪失シテ單ナル空文ニ終ツテシマフ、或ハ窮屈ニ過

ソレデ大體毎年度一回位最高發行高ヲ大藏大臣ガ決メルコトニ豫定致シテ居ルノデアリマス、此ノ最高發行限度ヲ法律上一定シマシテ「フランス」ノ元ノ發行制度ニ付テ御話ガゴザイマシタガ、現在ニ於テ外國ノ立法例ト致シマシテハ、此ノ案ト同ジヤウナモノハナイノデアリマスガ、「ドイツ」、「イタリヤ」、「フランス」等ノ現在ノ發行制度ハ、事實上或ハ制度上、發行限度内ニ等シイヤウナ状態デアリマシテ、我が國ニ於テ執リマス此ノ制度ガ、審ロサウ云フモノニ比ベマスレバ、一定ノ基準トナルベキ最高發行額ヲ決メマシテ、之ニ依ツテ經濟界ニモ一ツノ指標ヲ與ヘ、信用ノ維持ト通貨量ノ調節ヲ目標ニシテ、ヤツテ行カウト云フ點ニ付テ、慎重ナ態度ヲ執ツテ居ルモノト考ヘ

シテ物價ノ指數ヲドウ云フ工合ニソレニ加味スルトカ、或ハ取引ノ狀況、生産額ノ狀況ト云フヤウナモノヲ、ソレニドウ云フ工合ニ加味スルカト云フヤウナコトヲ、大體ニ於テ具體的ナ標準ヲ御定メニナラスト云フコトハ、如何ナモノデアラウカ、近來兌換券ノ臨時措置ニ關スル法律案ガ出ルト云フコトガ世間ニ噂サレマシテ、新聞ヤ雜誌ニハ屢、其ノコトガ論ゼラレテアツタ、大藏省デハ前年度ノ最高發行額ヲ標準トスルカ、平均發行額ヲ標準トスルカ、ソレ等ノコトニ向ツテハ研究中デアアル、何レイヅレカニ決定スルダラウト云フヤウナ新聞ノ報道モアツタノデアリマス、是ハ極メテ國民ノ經濟生活ニ重大ナ影響ノアル事柄デアアルコトハ申マスデモナイコトデアリマスカラ、大藏當局トシテハ餘程慎重ニ其ノ點ハ御研究ニナツタモノダト思フノデアリマス、又吾

ギテ臨機ニ彈力性ノアル措置ヲ執リ得ナイ結果ニナルカ、何レカヲ出デナイモノニナツテシマフノデゴザイマス、若シ強ヒテ何等カノ基準ヲ設ケヨウトシマスレバ、例ヘバ兌換銀行券ノ發行ノ過去ノ實例ヲ取リマシテ、前年中ノ最高發行高ヲ以テ一應ノ限度トスルト云フヤウナコトガ、考ヘラレルノデアリマスガ、ソレモ單ニ過去ニ於テ其ノ程度ノ發行ガアツタト云フ以外ニハ、ドウモ考ヘデ見テ合理的ナ根據モ見出スコトガ出來マセヌノデ、法律上大藏大臣ガ發行限度ヲ決メルニ付テ、之ヲ羈束スルヤウナ基準ヲ設ケルコトハ、之ヲ採ラナカツタノデアリマス、併シナガラ大藏大臣ガ其ノ發

行限度ヲ決メルト致シマシテモ、決シテ唯好イ加減ニ決メルノデハゴザイマセヌノデ、先程私ガ一應申上ゲマシタコトヲ、銀行券ノ趨勢ニ付テハドンナ考ヘ方デヤツテ行カウト云フコトヲ、更ニ御話申上ゲマスト、今考ヘテ居リマス所デハ、兌換銀行券ノ年中ニ於ケル平均發行高ガドウ位ニナルデアラウカト云フコトヲ標準ニスルコトハ勿論デアリマス、又年中ノ最高發行高、或ハ年末ニドウ位ニナルデアラウカト云フヤウナ各般ノコトヲ見ルノデアリマスガ、平均發行高ヲ見ルニ致シマシテモ、過去ニ於ケル平均發行高ノ趨勢ガドンナ風デアツタカ、又各般ノ經濟活動ヲ出來ル限リ考ヘマシテ、此ノ經濟活動ト只今仰セノ物價ノ關係トヲ能ク見マシテ、之ニ依ツテ兌換銀行券ノ平均發行高ガ、ドウ位ニナルデアラウカト云フヤウナコトモ見ルノデアリマス、又財政トノ關係ニ付キマシテハ、國債發行ト銀行券ノ關係ニ付キマシテ事變以來ノ趨勢、及ビ今後ノ見透シト云フモノヲ立テマス、是等ノ見透シヲ立テルニ付キマシテハ、政府ノ政策ガ加味サレルノデアリマシテ、例ヘバ專業活動ヲ見ルニ付キマシテモ、非常ニ細カニ申上ゲルトキリガナイノデアリマス

○武田(德)委員 細カニ御答辯ヲ得マシテ洵ニ有難ク存ジマス、色々御説明ヲ承リマシタガ、要スルニ其ノ時々ノ經濟界ノ狀況ニ即應シテ、適當ニ大藏大臣ガ決メルト云フ結論ノヤウニ承ルノデアリマス、ソレナラバ寧ロ日本銀行ノ總裁ニ御任せニナツタ方ガ宜イデハナイカ、大藏大臣ハ勿論一國ノ財政ハ勿論、金融ノ樞機ヲ握ツテ居ラレル方ニハ相違ナイガ、併シ實際ノ其ノ時々ノ金融ノ情勢ニ通曉シテ居ルモノハ、ドウシテモ日本銀行ノ總裁デアアルノデアリマス

ハ屢、其ノコトガ論ゼラレテアツタ、大藏省デハ前年度ノ最高發行額ヲ標準トスルカ、平均發行額ヲ標準トスルカ、ソレ等ノコトニ向ツテハ研究中デアアル、何レイヅレカニ決定スルダラウト云フヤウナ新聞ノ報道モアツタノデアリマス、是ハ極メテ國民ノ經濟生活ニ重大ナ影響ノアル事柄デアアルコトハ申マスデモナイコトデアリマスカラ、大藏當局トシテハ餘程慎重ニ其ノ點ハ御研究ニナツタモノダト思フノデアリマス、又吾

ギテ臨機ニ彈力性ノアル措置ヲ執リ得ナイ結果ニナルカ、何レカヲ出デナイモノニナツテシマフノデゴザイマス、若シ強ヒテ何等カノ基準ヲ設ケヨウトシマスレバ、例ヘバ兌換銀行券ノ發行ノ過去ノ實例ヲ取リマシテ、前年中ノ最高發行高ヲ以テ一應ノ限度トスルト云フヤウナコトガ、考ヘラレルノデアリマスガ、ソレモ單ニ過去ニ於テ其ノ程度ノ發行ガアツタト云フ以外ニハ、ドウモ考ヘデ見テ合理的ナ根據モ見出スコトガ出來マセヌノデ、法律上大藏大臣ガ發行限度ヲ決メルニ付テ、之ヲ羈束スルヤウナ基準ヲ設ケルコトハ、之ヲ採ラナカツタノデアリマス、併シナガラ大藏大臣ガ其ノ發

行限度ヲ決メルト致シマシテモ、決シテ唯好イ加減ニ決メルノデハゴザイマセヌノデ、先程私ガ一應申上ゲマシタコトヲ、銀行券ノ趨勢ニ付テハドンナ考ヘ方デヤツテ行カウト云フコトヲ、更ニ御話申上ゲマスト、今考ヘテ居リマス所デハ、兌換銀行券ノ年中ニ於ケル平均發行高ガドウ位ニナルデアラウカト云フコトヲ標準ニスルコトハ勿論デアリマス、又年中ノ最高發行高、或ハ年末ニドウ位ニナルデアラウカト云フヤウナ各般ノコトヲ見ルノデアリマスガ、平均發行高ヲ見ルニ致シマシテモ、過去ニ於ケル平均發行高ノ趨勢ガドンナ風デアツタカ、又各般ノ經濟活動ヲ出來ル限リ考ヘマシテ、此ノ經濟活動ト只今仰セノ物價ノ關係トヲ能ク見マシテ、之ニ依ツテ兌換銀行券ノ平均發行高ガ、ドウ位ニナルデアラウカト云フヤウナコトモ見ルノデアリマス、又財政トノ關係ニ付キマシテハ、國債發行ト銀行券ノ關係ニ付キマシテ事變以來ノ趨勢、及ビ今後ノ見透シト云フモノヲ立テマス、是等ノ見透シヲ立テルニ付キマシテハ、政府ノ政策ガ加味サレルノデアリマシテ、例ヘバ專業活動ヲ見ルニ付キマシテモ、非常ニ細カニ申上ゲルトキリガナイノデアリマス

○武田(德)委員 細カニ御答辯ヲ得マシテ洵ニ有難ク存ジマス、色々御説明ヲ承リマシタガ、要スルニ其ノ時々ノ經濟界ノ狀況ニ即應シテ、適當ニ大藏大臣ガ決メルト云フ結論ノヤウニ承ルノデアリマス、ソレナラバ寧ロ日本銀行ノ總裁ニ御任せニナツタ方ガ宜イデハナイカ、大藏大臣ハ勿論一國ノ財政ハ勿論、金融ノ樞機ヲ握ツテ居ラレル方ニハ相違ナイガ、併シ實際ノ其ノ時々ノ金融ノ情勢ニ通曉シテ居ルモノハ、ドウシテモ日本銀行ノ總裁デアアルノデアリマス

ハ屢、其ノコトガ論ゼラレテアツタ、大藏省デハ前年度ノ最高發行額ヲ標準トスルカ、平均發行額ヲ標準トスルカ、ソレ等ノコトニ向ツテハ研究中デアアル、何レイヅレカニ決定スルダラウト云フヤウナ新聞ノ報道モアツタノデアリマス、是ハ極メテ國民ノ經濟生活ニ重大ナ影響ノアル事柄デアアルコトハ申マスデモナイコトデアリマスカラ、大藏當局トシテハ餘程慎重ニ其ノ點ハ御研究ニナツタモノダト思フノデアリマス、又吾

ギテ臨機ニ彈力性ノアル措置ヲ執リ得ナイ結果ニナルカ、何レカヲ出デナイモノニナツテシマフノデゴザイマス、若シ強ヒテ何等カノ基準ヲ設ケヨウトシマスレバ、例ヘバ兌換銀行券ノ發行ノ過去ノ實例ヲ取リマシテ、前年中ノ最高發行高ヲ以テ一應ノ限度トスルト云フヤウナコトガ、考ヘラレルノデアリマスガ、ソレモ單ニ過去ニ於テ其ノ程度ノ發行ガアツタト云フ以外ニハ、ドウモ考ヘデ見テ合理的ナ根據モ見出スコトガ出來マセヌノデ、法律上大藏大臣ガ發行限度ヲ決メルニ付テ、之ヲ羈束スルヤウナ基準ヲ設ケルコトハ、之ヲ採ラナカツタノデアリマス、併シナガラ大藏大臣ガ其ノ發

行限度ヲ決メルト致シマシテモ、決シテ唯好イ加減ニ決メルノデハゴザイマセヌノデ、先程私ガ一應申上ゲマシタコトヲ、銀行券ノ趨勢ニ付テハドンナ考ヘ方デヤツテ行カウト云フコトヲ、更ニ御話申上ゲマスト、今考ヘテ居リマス所デハ、兌換銀行券ノ年中ニ於ケル平均發行高ガドウ位ニナルデアラウカト云フコトヲ標準ニスルコトハ勿論デアリマス、又年中ノ最高發行高、或ハ年末ニドウ位ニナルデアラウカト云フヤウナ各般ノコトヲ見ルノデアリマスガ、平均發行高ヲ見ルニ致シマシテモ、過去ニ於ケル平均發行高ノ趨勢ガドンナ風デアツタカ、又各般ノ經濟活動ヲ出來ル限リ考ヘマシテ、此ノ經濟活動ト只今仰セノ物價ノ關係トヲ能ク見マシテ、之ニ依ツテ兌換銀行券ノ平均發行高ガ、ドウ位ニナルデアラウカト云フヤウナコトモ見ルノデアリマス、又財政トノ關係ニ付キマシテハ、國債發行ト銀行券ノ關係ニ付キマシテ事變以來ノ趨勢、及ビ今後ノ見透シト云フモノヲ立テマス、是等ノ見透シヲ立テルニ付キマシテハ、政府ノ政策ガ加味サレルノデアリマシテ、例ヘバ專業活動ヲ見ルニ付キマシテモ、非常ニ細カニ申上ゲルトキリガナイノデアリマス

○武田(德)委員 細カニ御答辯ヲ得マシテ洵ニ有難ク存ジマス、色々御説明ヲ承リマシタガ、要スルニ其ノ時々ノ經濟界ノ狀況ニ即應シテ、適當ニ大藏大臣ガ決メルト云フ結論ノヤウニ承ルノデアリマス、ソレナラバ寧ロ日本銀行ノ總裁ニ御任せニナツタ方ガ宜イデハナイカ、大藏大臣ハ勿論一國ノ財政ハ勿論、金融ノ樞機ヲ握ツテ居ラレル方ニハ相違ナイガ、併シ實際ノ其ノ時々ノ金融ノ情勢ニ通曉シテ居ルモノハ、ドウシテモ日本銀行ノ總裁デアアルノデアリマス

ハ屢、其ノコトガ論ゼラレテアツタ、大藏省デハ前年度ノ最高發行額ヲ標準トスルカ、平均發行額ヲ標準トスルカ、ソレ等ノコトニ向ツテハ研究中デアアル、何レイヅレカニ決定スルダラウト云フヤウナ新聞ノ報道モアツタノデアリマス、是ハ極メテ國民ノ經濟生活ニ重大ナ影響ノアル事柄デアアルコトハ申マスデモナイコトデアリマスカラ、大藏當局トシテハ餘程慎重ニ其ノ點ハ御研究ニナツタモノダト思フノデアリマス、又吾

ギテ臨機ニ彈力性ノアル措置ヲ執リ得ナイ結果ニナルカ、何レカヲ出デナイモノニナツテシマフノデゴザイマス、若シ強ヒテ何等カノ基準ヲ設ケヨウトシマスレバ、例ヘバ兌換銀行券ノ發行ノ過去ノ實例ヲ取リマシテ、前年中ノ最高發行高ヲ以テ一應ノ限度トスルト云フヤウナコトガ、考ヘラレルノデアリマスガ、ソレモ單ニ過去ニ於テ其ノ程度ノ發行ガアツタト云フ以外ニハ、ドウモ考ヘデ見テ合理的ナ根據モ見出スコトガ出來マセヌノデ、法律上大藏大臣ガ發行限度ヲ決メルニ付テ、之ヲ羈束スルヤウナ基準ヲ設ケルコトハ、之ヲ採ラナカツタノデアリマス、併シナガラ大藏大臣ガ其ノ發

行限度ヲ決メルト致シマシテモ、決シテ唯好イ加減ニ決メルノデハゴザイマセヌノデ、先程私ガ一應申上ゲマシタコトヲ、銀行券ノ趨勢ニ付テハドンナ考ヘ方デヤツテ行カウト云フコトヲ、更ニ御話申上ゲマスト、今考ヘテ居リマス所デハ、兌換銀行券ノ年中ニ於ケル平均發行高ガドウ位ニナルデアラウカト云フコトヲ標準ニスルコトハ勿論デアリマス、又年中ノ最高發行高、或ハ年末ニドウ位ニナルデアラウカト云フヤウナ各般ノコトヲ見ルノデアリマスガ、平均發行高ヲ見ルニ致シマシテモ、過去ニ於ケル平均發行高ノ趨勢ガドンナ風デアツタカ、又各般ノ經濟活動ヲ出來ル限リ考ヘマシテ、此ノ經濟活動ト只今仰セノ物價ノ關係トヲ能ク見マシテ、之ニ依ツテ兌換銀行券ノ平均發行高ガ、ドウ位ニナルデアラウカト云フヤウナコトモ見ルノデアリマス、又財政トノ關係ニ付キマシテハ、國債發行ト銀行券ノ關係ニ付キマシテ事變以來ノ趨勢、及ビ今後ノ見透シト云フモノヲ立テマス、是等ノ見透シヲ立テルニ付キマシテハ、政府ノ政策ガ加味サレルノデアリマシテ、例ヘバ專業活動ヲ見ルニ付キマシテモ、非常ニ細カニ申上ゲルトキリガナイノデアリマス

○武田(德)委員 細カニ御答辯ヲ得マシテ洵ニ有難ク存ジマス、色々御説明ヲ承リマシタガ、要スルニ其ノ時々ノ經濟界ノ狀況ニ即應シテ、適當ニ大藏大臣ガ決メルト云フ結論ノヤウニ承ルノデアリマス、ソレナラバ寧ロ日本銀行ノ總裁ニ御任せニナツタ方ガ宜イデハナイカ、大藏大臣ハ勿論一國ノ財政ハ勿論、金融ノ樞機ヲ握ツテ居ラレル方ニハ相違ナイガ、併シ實際ノ其ノ時々ノ金融ノ情勢ニ通曉シテ居ルモノハ、ドウシテモ日本銀行ノ總裁デアアルノデアリマス

ガ、サウシテソレヲ又眞ニ經濟界ノ實情ニ  
即應スルト申セバ、外國貿易ノ關係モアリ  
マセウシ、季節的ニ商品ノ出廻ルモノモアリ  
マセウ、例ハ養蠶業デ言フナラバ、繭ノ  
出廻ル時期トカ、農産物ノ出廻ル時期トカ、  
サウ云フ季節的ノ關係モアリマス、色々ナ  
事情デ、ソコニ普通ノ才役所ノ方々デハ、  
中々敏感ニ感シ得ナイヤウナコトヲ、金融  
業者若クハ實業家ノ方ニハ早ク之ヲ感ズル、  
一口ニ申セバ詰リ經濟界ノ實情ニ即應スル  
ト云フノダカラ、結局他ノ言葉デ以テ言ヘ  
バ、腰ダメト云フコトニナル、一定ノ標準  
ヲ立テ、法律デ規定シナイデ、假令内規デ  
アツテモ、先程私ノ申上デマシタ通り、何  
等カソコニ二三、若クハ四五、「フアクター」  
ヲチャント決メテ、ソレヲ内規トシテ斯ウ  
スルノダト云フコトデアリナラバ、是ハ首  
肯出來ル、サウデナクテ結局腰ダメ其ノ  
時々ノ財界ノ狀況ニ即應シテ決メルト云フ  
ノデアリナラバ、寧ろ大藏大臣ヨリハ寧ろ  
其ノ實際ノ金融ノ衝ニ當ツテ居ル人ガ決メ  
テ、サウシテソレニ對シテ大藏大臣ノ認可  
ヲ受ケルト云フ形ヲ執ツタ方ガ、實際ノ經  
濟界ニ即應スルコトガ出來ルノデハナイカ  
ト思フガ、ドウデセウカ

○相田政府委員 最高限度ヲ決メルニ付キ  
マシテハ、單ニ客觀的ナ金融經濟ノ情勢ヲ  
見テ、ソレニ即應スルト云フダケデアアリ  
マセヌ、更ニ政府ノ金融、經濟政策ヲソコ  
ニ反映サセマシテ、之ヲ決メル必要ガアラ  
ウト存ゼラレルノデアリマス、隨ヒマシテ  
今日金融政策ヲ掌ツテ居リマス大藏大臣ニ  
於テ、之ヲ決定スルコトガ適當デアルト存  
ゼラレマス、尙ホ念ノ爲ニ申上ゲテ置キマ  
スガ、此ノ最高額ヲ決メマスノハ、此ノ法

文ヲ讀ミマスレバ、隨時何時デモ頻繁ニ變  
更シ得ル建前ニナツテ居リマスガ、實際ノ  
考ヘ方ハ、是ハ大體ニ於テ基準トナルベキ  
發行高ヲ決メルト云フ考ヘ方デアリマス、  
隨テ先程申上ゲマシタヤウニ、恐ラク毎年  
度初メ一回之ヲ定メルコトニナルモノト存  
ゼラレマス、サウシテ年末等特ニ臨時的ナ  
金融ノ繁忙期ニ於キマシテハ、制限外發行  
ニ依ツテ之ヲ賄フノデアリ、其ノ制限外發  
行ノ制度ハ現在通りデアリマシテ、日本銀  
行ガ申請ヲシテ之ヲ大藏大臣ガ認可スル、  
此ノ建前デ行ク、斯ウ考ヘテ居ルノデゴザ  
イマス

○武田(德)委員 只今ノ御説明デハ尙ホ私  
ハ十分満足シナイノデアリマスガ、併シ同  
ジコトヲ繰返シ論議シテ見テモ仕様ガアリ  
マセヌカラ、大藏當局ノ御意見ヲ唯承ル  
ト云フコトニ致シテ置キマシテ、更ニ今申上  
ゲタコトニ關聯シテ、最高發行制度ヲ執ル  
場合ニハ、外國ノ例ナドヲ見マシテモ、ド  
ウシテモ兎角發行高ガ多クナル傾向ハ、是  
ハ免レヌノデアリマス、現ニ其ノ標準トシ  
テ、「フランス」ノ如キハ御承知ノ通り相當  
長イ間最高發行制度ヲ執ツテ來タノデアリ  
マスガ、遂ニ餘リニ發行高ノ増嵩スルニ堪  
ヘ兼ねテ、御承知ノ通り一九二八年ニ之ヲ  
廢メテシマツタノデアリマス、私ノ承ル所  
ニ依ルト、前ノ「ヨーロッパ」戰爭ノ一、二  
年前、即チ一九一一年ニハ、「フランス」ノ  
最高發行高ハ法律ヲ以テ六十九億「フラン」  
ト決メテアツタノダサウデアリマス、ソレ  
ガ之ヲ廢止シタ一九二八年ニハ五百九十億  
「フラン」ニ増加シタ事實モアルノデアリマ  
ス、勿論是ハ唯濫發シタト云フコトデナク  
テ、「フランス」モ一種ノ「インフレーション」

「ニ」襲ハレテ、遂ニ「ポアンカレ」ノ手  
デ平價切下ヲシタヤウナ時代モアリマスガ  
ラ、之ヲ以テ總テ法律スルコトハ勿論出來  
マセヌケレドモ、ドウモ此ノ兌換ノシナイ  
銀行券ト云ヘバ即チ政府紙幣ト變ラヌノデ  
アリマスガ、管理通貨ノ制度ニ於テ一番恐  
ルベキコトハ、申スマデモナクドウシテ適  
當ナル發行額ヲ決メルカ、サウシテソレヲ  
經濟ノ實情ニ副ハシメルカト云フコトガ、  
一番重大ナ問題デ、ソレガ旨ク行ケバ此ノ  
管理通貨ハ最早滿點ノモノデアツテ、疾ク  
ニ是ハ實際ニ行ハレテ居ナケレバナラス答  
ナノデアリマス、如何ナル金屬貨幣論者ト  
雖モソレハ異論ノアラウ筈ハナイガ、唯此  
ノ兌換ノ出來ナイ政府紙幣ノヤウナ發行券  
デ、最高發行額ヲ執ルト云フ場合ニ、  
ドウシテ其ノ最高發行額ヲ適當ニ決メルカ  
ト云フコトニ、實ハ難點ガアルノデアリマ  
ス、ソレ故ニ是ハ、抽象的ナラバ、今銀行  
局長ガ言ハレル通り、諸般ノ政府ノ政策、  
經濟界ノ實情、物價ノ情勢、凡ユル情勢ヲ  
見極メテ、ソレニ適當スルヤウニト云フコ  
トハ、ソレハ洵ニ結構ナコトデアアルガ、楮  
實際ニ當ルト中々サウハイカヌノデアリマ  
ス、私ハ寧ろ理想カラ申セバ、最初ノ一回  
ハ、凡ユル大藏當局ノ御意見ヲ中心トシテ、  
吾々ノ意見モ十分ニソレニ織込シテ、其ノ  
時ノ社會情勢ヲ十分考察致シテ、サウシ  
テ最初ノ一回ハ法律デ決定ヲシテ、ソレヲ  
基準ト致シマシテ、今度ハ年々ドウ云フ標  
準デドウ云フ「フアクター」ニ依ツテソレヲ  
取捨スルカト云フ其ノ決メ方ヲ法律ニ決メ  
テ、之ヲ大藏大臣ニ一任スルカ、日本銀行  
總裁ニ一任スルト云フヤウナコトガ私ハ宜  
クハナイカト思フ、是ハ私ノ試案デアリマ

スガ、併シ既ニ法律案ガ出テ居ルノニ左様  
ナコトヲ申シテモ、是ハ實行不可能ノコト  
デアリマセウカラ、私ハサウ云フ風ヲ考ヘ  
方ヲシテ居ルト云フコトヲ唯申上ゲルダケ  
デアリマスガ、ソレニ致シマシテモ、ドウ  
シテモ之ヲ濫リニ増發ニナラナイヤウニ、  
而モ又餘リニ「デフレーション」ニナツテモ  
是亦困ルコトデアリマスカラ、之ヲ本當ニ  
今局長ノ言ハレル通りニ、財界ノ實情ニ即  
應セシムルト云フコトハ餘程至難ナコトデ  
アルト思ヒマスガ、已ムヲ得ズンバ、前年  
度ノ平均發行額ニ物價ノ指數ヲ織込シテ、  
ソレヲ基準ト致シマシテ、其ノ他ノ狀況ハ  
大藏大臣ガ腰ダメデ、今ノ政府ノ政策其ノ  
他ノ狀況ヲ織込シテ御決メニナルト云フ位  
ナコトノ、具體的ナ意見ヲ御定メニナツテ  
置クコトガ必要デハナカラウカ、私ガ最高  
發行額ヲ採ラズニ平均發行額ト云フコトヲ  
申シタノハ、最高發行額ノ中ニハ、近來ノ  
日本ノ實例カラ申シテモ、ドウシテモ年末  
デアルトカ六月ノ半期決算ノ時トカト云フ  
時ニハ、限外發行ノ出ルノハ當然デアリマ  
ス、デアルカラ寧ろ私ハ、此ノ最高發行額  
ハ何レカト云ヘバ、幾ラカ少ナイ方ニ定メ  
テ置キテ、サウシテ限外發行ヲ認メテ、其  
ノ代リ限外發行ニ付テハ、今日ノヤウナ三  
分ト云フ率ヲモツト上げテ、四分若クハ五  
分位ニ限外發行稅ト云フモノヲ上げテ、サ  
ウシテ其ノ増發ヲ「チヂク」スルト云フ手段ヲ  
御執リニナツタラ如何ナモノデアラウカ、  
斯様ニ思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ  
政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○相田政府委員 只今色々示唆ニ當ンダ御  
意見ヲ伺ツタノデアリマスガ、前年ノ平均發行  
高ニ物價指數ヲ勘案シテ、サウ云フモノヲ基

高ニ物價指數ヲ勘案シテ、サウ云フモノヲ基

礎ニシテ、更ニ他ノ「フアクター」ヲ附加ヘテ決メタラト云フ御意見ニ付キマシテ、私共ノ考ヘテ居リマス所モ亦、大體同ジヤウデアリマシテ、各般ノ要素ヲ考ヘル中ニハ、平均發行高ノ過去ニ於ケル趨勢ト云フヤウナモノハ勿論之ヲ見マシテ、他ノ諸般ノ要素ト綜合シマシテ之ヲ決メテ行キタイト思ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ發行最高額ハ少ナ目ニ決メテ、限外發行稅ヲ高クシテ、之ニ依ツテ通貨ノ膨脹ヲ阻止スルコトガ適當デアリカト云フ御意見ノヤウニ拜承致シタノデアリマス、限外發行ノ場合ニ於ケル發行稅ヲ高ク致シマシテモ、實際問題トシテ金利ノ引上ヲソレニ依ツテ結果スルコトハ、中々困難デアリカト思ハレマスノデ、制度ノ上ニ於キマシテハ三分ヲ下ラザルト云フ今マデノ制度ヲ其ノ儘踏襲致シテ居ルノデアリマスカラ、必要ニ應ジマシテハ御意見ノヤウナ點モ考ヘナケレバナラヌ場合モ或ハアルカモ知レマセヌガ、限外發行稅ヲ今日引上ゲルコトニ依ツテ、金利引上ヲスルコトガ出來ルカドウカ、ソレハ可ナリ問題デアルト考ヘルノデアリマス

○武田委員 次ニ御伺ヒ申シタイコトハ、今度此ノ改正ニ依リマス。日銀ノ正貨準備並ニ保證準備モ日本銀行ノ自由ニナルヤウニ私ハ解シテ居リマス、先程局長ノ御話ニ依ルト、通貨管理ハ、將來ノ幣制ノ行先ハサウ云フ方向ニ向フダラウト云フコトヲ既ニ御認メニナツテ居ルノデ、管理通貨ハ大勢デアルト云フ私共ノ意見ト同ジデアルト云フコトヲ御發表ニナツタノデアリマス、サウト致シマスレバ、現在日本銀行ノ持ツテ居ル五億ノ正貨ハ、政府ノ金資金特別會計ヘ移ス方ガ適當デアリカト私ハ思ヒマス、

現ニ「イングラント」銀行モ御承知ノ通り、戰爭ガ始マツテ以來、程ナクシテ其ノ持ツテ居ル相當多額ノ「イングラント」銀行ノ正貨準備ニ充テラレテ居ル金ヲ、政府ノ爲替調整勘定ニ移シ替ヘタノデアリマス、元來今日此ノ管理通貨ヲ認メルト云フコトハ、國內ニハ最早兌換ノ必要ガナイ、唯外國トノ貿易尻ノ決済ニミ正貨ガ要ルノダト云フ觀念カラ出テ居ルノデアリマスカラ、殊ニ四十億モ通貨ヲ出ス今日ニ於テ、實際國民ニ對スル信用ト云フ上カラ言ツテモ、何モ日本銀行ニ五億ノ正貨ガアツタカラ、國民ガ信用スルトカ、シナイトカ云フ問題デアリナイと思フ、日本ノ國民程日本ノ政府ヲ全幅的ニ信頼スル國民ハ私ハナイと思フ、日本ノヤウナ金融制度ノ不備ナリ尤モ今日ハ整備シテ居リマスケレドモ、二十年三十年前ノ金融制度ノ極メテ幼稚ナ時代デアツテモ、日本ノ國民ハ政府ノ發行シテ居ル紙幣、若クハ政府ノ許可ノ下ニ日本銀行ノ發行シテ居ル紙幣ニ對シテ、何等ノ疑ヒヲ持ツテ居ナカツタ、何レノ國ヘ行キマシテモ、勿論兌換券若クハ政府紙幣ヲ使ツテ居リマスガ、同時ニ正貨ヲ使ツテ居ル、何處デモサウデアアル、日本ノヤウニ金貨國デアリナガラ、民間ニ補助貨以外ニ正貨ガ殆ド流通シナイト云フ國ハ、世界ニ私ハナカラウト思フ、ソレ程政府ヲ信頼シテ居ル國民デアアル、ダカラ何モ兌換紙幣ノ國民ノ信頼ヲ得ルガ爲ニト云フ單純ナル理由ノ下ニ、今日五億ノ正貨準備トシテ日本銀行ノ勘定ニ持ツテ居ナケレバナラヌト云フコトハナイヤウニ思フ、何故ニ之ヲ政府所有ニ御移シニナラスカト云フ點ニ付テ、御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○相田政府委員 日本銀行ガ現在保有シテ居リマス金ノ職能ニ付キマシテ、否廣ク今日ニ於ケル金ノ職能ニ付キマシテノ只今ノ御意見ハ實ニ御尤モデアリマシテ、金ノ今日ニ於テ職能ハ只今ノ御意見ノ如ク之ヲ考ヘナケレバナラヌモノト存ゼラレルノデアリマス、唯日本銀行ノ今日持ツテ居リマス金ヲ全部金資金特別會計ニ移シテ、之ヲ今日ノ場合最モ適當ナ方法ニ依ツテ活用スル途ヲ開クカドウカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ今後必要ニ應ジテ之ヲ考慮致シタイト申上ゲルヨリ外ナイト存ジマス、此ノ發券制度ノ改正ト、日本銀行ノ現在ノ發券準備デアアル金ヲ如何ニスルカト云フコトハ、當然ノ關聯ハ持ツテ居ナイ問題トシテ考ヘタイト存ジマス

○武田委員 今ノ御答辯、私一寸實ハハツキリ意味ガ分リ兼ねマス、必要ニ應ジテ或ハ政府ノ所有ニ移スコトガアルカモ知レナイト云フ御話デアリマスガ、必要ニ應ジテ移スコト云フ御考ヘハ、私ノ先刻申上ゲル通りニ、正貨準備トシテ日本銀行ハ正貨ヲ持ツ必要ガナイト云フコトヲ既ニ前提トサレテ居ルノデ、其ノ點ハ私ト同ジ意見カラ出發シタノデアリカト思ヒマス、サウト致シマスレバ、今ノ内ニ移シテモ差支ヘナイノデアリナイカ、ソレデ私ノ伺フノハ、幾分ナリトモ兌換準備ニ正貨ヲ持ツテ居ナケレバナラヌト云フ理由ガアツテ、此ノ儘ニシテ居ルノカドウカ、斯ウ云フコトナノデス、ソレハ最早實際管理通貨ニナツテ居ルノデアアルカラ、正貨準備ハ要ラヌ、斯ウ云フノナラバ全然私ノ考ヘト同ジナノデ、ソレナラ不必要ノ所ニ置カズニ、必要ニ應ジテ政府ガ何時デモ使ヘル所ニ置ケバ宜イ、既ニ一昨年デシタカ、

三億圓ノ金ヲ爲替資金トシテ運用サレテ居ツテ、昨年ノ議會ナドデハ其ノ三億圓ノ運用デ、貿易上非常ニ便利ヲ得タト云フコトヲ御話ニナツテ居ル、然ラバ更ニ五億ヲ其ノ方ニ向ケテ——何モソレヲ無用ニ使フ譯デアリナイ、適當ニ貿易關係ニ之ヲ運用スル途ハ幾ラデモアルデアラウ、況ヤ今日ノ如ク我が國ト貿易關係ノ最モ深イ「スターリング・ブロック」「ドル・ブロック」ノ方面カラ中々物ガ取り得ナイ状態デアリ、何時如何ナル事變ガ起ラナイトモ限ラナイ今日ノ状態デアリマスカラ、極論スルナラバ、此ノ通貨管理ノ場合ニ、正貨ナドアツテモナクテモ宜イ、「ドイツ」ノ如キハ殆ド正貨ハナイト言ツテモ宜イ位ニ、ソレヲ以テ外國カラ必要ナル物資ヲ入レテ居ル、ソレナラバ今日ハ非常ニ窮屈ニ相違ナイケレドモ、本當ニ國家ノ急ニ應ズルナラバ、出來得ルダケ早く此ノ軍事上ノ必要品ヲ買入レルト云フヤウナ、急ニ迫ツテ居ルノデヤナイカト思フ、其ノ點國民トシテ之ヲ有效ニ利用スルノハ、今ガ一番宜イノデアリナイカ、必要ノアツタ時ニ入レルノダト云フ御意見ハ、ドウモ何ダカ煮エ切ラヌヤウニ私ハ思フ、兌換券ニ對スル國民ノ信用ヲ維持スル爲ニ、ヤハリ保證準備ダケハイカス、幾分ノ正貨準備ガアルト云フコトハ、國民ノ貨幣ニ對スル「コンシエンス」ヲ維持スル爲ニ必要ダト云フ御議論ナラバ、一應尤モデアリマスケレドモ、必要ガアツタラ移シテ宜イト云フ御考ヘデアリマスレバ、兌換準備トシテ正貨ハ要ラヌト云フ前提ノ下デナケレバ、左様ナ御考ヘノ出ル筈ハナイ、サウスレバ根本論トシテ私ノ考ヘト同ジデアリマスカラ、寧ロ今日御移シニナルト云

フコトハ、適當準備デアアルマイカト思フガ如何デスカ

○相田政府委員

金ノ國內通貨ノ基礎トシテノ作用ニ付キマシテハ、御意見ト全然同感デアリマス、ソコデ日本銀行ノ現在持ツテ居ル金ト云フモノハ、國內ニ於ケル通貨ノ價值ト云フコトカラ見レバ、全然意味ノナイモノト思ハレマス、ソコデ是ノ活用ニ付キマシテハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、最モ之ヲ有效ニ使用スルヤウニ今後ノ事情ニ應ジマシテ措置致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ考ヘデ居リマスノデ、左様御諒承願ヒタイト思ヒマス

○武田委員

次ニ御伺ヒ申シテ置キタイコトハ、先程モ申上ゲタ通り最高發行額制度ヲ執ルト共ニ、最モ大藏當局トシテ御注意ヲ願ハナケレバナラヌコトハ、銀行券ノ増發ニ陥リナイヤウニト云フ用意ガ、極メテ必要ナコトダト思フノデアリマシテ、是ハ當然ノコトデ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、唯如何ナル手段ニ依ツテ過發ニ陥ラヌヤウニスルカト云フ其ノ手段方法ハ、中々私ハ面倒ダト思フ、「イギリス」ノ實情ヲ見マス、戰爭始ツテ以來一向通貨ガ殖エテ居ナイ、最近新聞ニ現ハレテ居ル所ヲ見マスルト、一日ノ戰費ガ千五百万「ポンド」モ使ツテ居ル、即チ我が國ノ金ニシテ二億五千万圓位毎日使フ程ノ多大ノ戰費ヲ使ヒナガラ、依然トシテ今日通貨ノ流通ガ「イギリス」邊リハ——新聞雜誌ノ報道スル所ヲ眞ト致シマスレバ、六億「ポンド」位ダト云フコトデス、六億「ポンド」ト云ヘバ、戰時前ト大差ナイ發行額デアル、是程マデ澤山ノ戰費ヲ使ヒナガラ、一向通貨ノ量ハ殖エナイト云フノニ、我が國デア先程申上ゲタ

ヤウナ割合デ非常ニ殖エテ居ル、先程銀行局長ノ通貨増發ノ原因ニ對スル御説明ガアリマシタガ、私ガソレニ對シテ慚ラスト申上ゲタノハ、「イギリス」ナドノ實例ヲ見マス、ドウモ先程局長ノ御指摘ニナツタヤウナ事情モアルデセウ、然ルニ「イギリス」ニ於テハ餘リ増發ニナラヌノニ、我が國ニ於テ増發ニナルノハ何故デアルカ、此ノ原因ヲ大藏當局ハ御考ヘ下サツテ、之ニ對應スル適當ナル措置ヲ御執リ下サラヌト、私ハ經濟界ニ大變ナ困ツタコト——恐慌ト云フ言葉ハ不適當カ知レマセヌガ、相當ナ困難ガ起キルノデヤナカラウカト私ハ思フ、ソレデ私モ餘リ「イギリス」ノ實情ヲ知リマセヌガ、「イギリス」ノ近來ノ財政經濟ノ狀況ヲ「イギリス」ノ雜誌其ノ他ニ依ツテ見マスト、私ノ解釋スル所デハ、「イギリス」デ銀行券ノ發行ノ餘リ甚シクナイ理由トシテハ幾ツモアリマセウケレドモ、主トシテ考ヘラレルコトハ、公債ノ發行ヲ、我が國ニ於テハ日本銀行引受ニシテ後カラ賣出スト云フ所謂「マーケット・オペレーション」ヲヤツテ居ルノニ反シテ、先ニ一般募集ヲシテ居ルト云フコトガ最モ強イ理由デアルト私ハ思フ、モウ一ツハ戰費ノ支辨ヲ、主トシテ増稅ニ依ツテヤツテ居ル、尤モ今日ノヤウニ一日ニ二億モ二億五千万圓モ使フト云フ時、其ノ大部分ヲ増稅デ賄フト云フコトハ出來ルモノデハナイノデアリマスカラ、絕對數カラ言ヘバ公債ノ募集ハ多イノデアリマスケレドモ、比較的ニ見テ増稅デ賄フト云フ方針ヲ執ツテ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、是ハ「イギリス」ノ傳統的精神デ、第一次歐洲大戰ノ時モサウデアツタガ、今度ハ一層其ノ事ヲ思ヒ切ツテヤツテ居ルコトモ御承知

ノ通りデアル、私ハ是ガ相當大キナ理由デナイカト實ハ思フノデアリマス、勿論我が國ト「イギリス」ノ經濟狀態ハ違ヒマシテ「イギリス」ハ海外ニ澤山ノ債權ヲ持ツテ居リマス、隨テ其ノ在外ノ債權其ノ他ノ要求權ヲ動員シテ居ルト云フ事實モアリマス、併シナガラ最近一ツハ——是ハ宣傳ダト云フコトデアリマスケレドモ、「アメリカ」ノ財務長官モ「イギリス」ノ「アメリカ」ニ於ケル軍需品買入ノ資金ハ、殆ド盡キントシテ居ルト云フコトヲ言ツテ居リマスカラ、我が國ト比較シテハ豊カデアアルカモ知レマヌガ、サウ無限ニ豊カデアアルトハ考ヘラレナイ、然ルニ此ノ兌換券發行高ノ上カラ見レバ「イギリス」ノ經濟界ハ餘リ憂フベキ状態ヲ示シテ居ラス、是ハ我が國ト致シマシテモ、戰時經濟ヲ運營スル上ニ於テ、十分ニ參考ニスベキコトデアリカト思フ、若シ私ノ考ヘガ或ル程度大藏當局ノ御同意ヲ得ラレルモノデアリマスタラバ、私ハ其ノ方法トシテ——是ハ銀行局長カラ承ルノガ宜イカ、或ハ大臣ナリ次官ナリカラ承ルノガ宜イカ知リマセヌガ、既ニ銀行局長モ此ノ點ニ付テハ非常ニ御苦心ヲサツテ居ルデアリマセウカラ、一應何ツテ置キタイノデアリマセヌガ、私ハ「イギリス」其ノ他ノ國ノ如ク、公債ノ募集ヲ全部日本銀行引受ニセズシテ、一般募集ニスルト云フコトハ、我が國ノ實情トシテハ甚ダ不便デアラウト思ヒマスガ、其ノ幾分ヲ、或ハ三分ノ一ガ宜イカ、四分ノ一ガ宜イカハ其ノ時ノ事情ニ依リマスガ、兎モ角今日ノ軍事公債ヲ或ル程度一般募集ニスルノ方法ヲ御執リニナルト云フ必要ガアリハシナイカ、ソレカラ更ニ軍費ノ支辨ヲ今日ヨリ一層増稅ニ依ルノ方針ヲ執ル必

要ガアリハシナイカ、ソレカラ貯蓄ノ獎勵ヲ今日ノヤウナ方法ヨリ更ニ一層強化スルノ必要ガアルノデアアルマイカト、斯様ニ實ハ、思フノデアリマス、ソレデ増稅ノ問題トカ貯蓄ノ獎勵ノ問題ハ、銀行局長ノ直接ノ御所管デアリマセヌカラ、必ズシモ承ラヌデモ宜シイ、若シ承ルコトガ出來レバ尙ホ結構デアリマスガ、公債ノ一般募集ハ或ル程度ヤツテ見テハドウカト云フ點ニ付テノ御意見ダケ伺ツテ見タイト思ヒマス

○相田政府委員

「イギリス」ハ多額ノ戰費ヲ支辨シテ居ルニ拘ラズ通貨ノ膨脹ガ割合ニ少イト云フ御話ガゴザイマシタ、此ノ點ニ關シマシテハ私今手許ニ資料ヲ持ツテ居リマセヌガ、「イギリス」ニ於テハ現金通貨ノ膨脹ハ少イガ、信用通貨ノ膨脹ト云フ點ニ至リマス「イギリス」ニ於テモ可ナリアルノデアリカト想像セラレルノデアリマス、此ノ前ノ歐洲大戰ノ時ニ於ケル交戰各國ノ通貨膨脹ノ比較研究ヲシタモノヲ見マシテモ、「イギリス」ニ於テモ信用通貨マデ合セレバヤハリ通貨膨脹ガ可ナリアツタノダト云フコトヲ論斷シテ居ル學者ガ多イヤウニ考ヘマス、ソレカラモウ一ツ、「イギリス」ノ通貨膨脹ガ少イトシテ、其ノ原因トシテ考ヘラレマスコトハ、在外資金ト言ヒマスカ、在外資産ト言ヒマスカ、サウ云フモノヲ「イギリス」ハ比較的の多ク持ツテ居ツテ、是ノ動員ニ依ツテ戰爭資材ノ購入等ガ相當出來タノデヤナイカト想像サレルノデアリマス、公債發行ノ方法ニ付キマシテハ、我が國ト違ツテ一般公債ノ方法ヲ執ツテ居ルト云フ點ニ付テ申シマスレバ、我が國ハ戰爭以來唯一回ダケ「シンデケート」引受ニ依リマシテ、發行ヲ

致シタノデアリマスガ、其ノ後ハ總テ御承知ノヤウニ日本銀行ノ引受ニ依ツテ發行致シ、政府ノ撤布資金ガ又金融機關ニ集マツテ來ルノヲ待ツテ、金融機關ニ於ケル消化ヲ圖ル、併シ國債ノ民衆化モ圖ルト云フ趣旨カラ致シマシテ、郵便局賣出シノ方法モ時時講ジテ居ル、其ノ他御承知ノヤウナ各般ノ消化方法ヲ執ツテ居ルデアリマス、之ヲ改メテ、又幾部分デモ一般公募ヲアルコトガ宜クハナイカト云フ御意見デアリマスガ、今マデノ通りノ方法ヲ繼續致シマシテモ、今日ハ金融ノ統制モ實質的ニ相當程度行ハレテ居リマスシ、又制度ト致シマシテハ銀行等資金運用令ニ於ケル資金ノ用途、資金計畫ノ指定ノ方法モアル譯デアリマシテ、一旦日本銀行引受ニ依ツテ發行ヲシテ、サウシテ之ヲ金融機關其ノ他ニ於ケル消化ヲ圖ルト云フコトニ致シマシテモ、直接公募ヲスルヨリモ寧ロ却テ諸般ノ點ニ於キマシテ、消化上都合好ク行ク場合ガ多イノデヤナイカ、今全く別ノ意味ニ於テ、ト申シマスノハ、例ヘバ公債ノ強制引受ト云フヤウナ意味ニ於テ、直接引受ヲサセルト云フコトデアレバ別問題デアリマスガ、強制引受ノヤウナコトヲ考ヘテ居ラヌト云フコトハ、大藏大臣モ當議會ニ於テ言明サレタ通りデアリマス、現在ノヤウナ日本銀行引受ノ方法ニ依ツテ發行シテ、ソレヲ更ニ日本銀行カラ賣却スルト云フ方法ヲ執ルコトハ、今日ノ所敢テ行詰リガ來テ居ルトモ考ヘラレマセシ、一般公募ニ變ヘルト云フコトハ、今日ノ所考ヘテ居ラナイ次第デゴザイマス、貯蓄獎勵ノ徹底、戰費ヲ租稅デ成ベク賄フト云フヤウナ問題ニ付キマシテモ、過般來大藏大臣カラ屢々答辯ノアリマシタコトデモ

アリマスルシ、私カラハ御答スルコトヲ差控ヘテ置キタイト存ジマス

ノ間ニ相當長イ時間ヲ要スルコトハ申スマデモナイ、サウシテ其ノ間ニ其ノ金ガジツトシテハ居リマセヌ、相當轉々シテ働イテ居ルノデアリマス、其ノ金ガ働クコトニ幾分ノ利益ヲ生ンデ居ルノデアリマス、唯ジツトシテ居ルノデアリマセヌ、其ノ利益ハ即チ其ノ利益ヲ受ケタ人ノ購買力ニナルノデアリマス、働ク金ハ一ツデアリマスケレドモ、殆ド手ガ變ル毎ニソレニ利益ガ附イテ居ル、サウシテ其ノ爲ニ購買力ガ殖エテ行クノデアリマスカラ、今銀行局長ノ仰シヤツタ、先ニ日本銀行ガ引受ケタモノ、一般募集シタモノモ、同一ノ結果ダト言ハレルノハ、ソレハ非常ナ違ヒデアルト思フ、今日ノ資金ノ統制法ノアノ建前カラ致シマシテハ、會社若シクハ個人ガ持つテ居ル購買力ソレ自身ヲ統制スル統制デハナイ、アノ資金ノ統制法ニ依ツテ、各自ガ其ノ金ヲ働カシテ利益ヲ生ムト云フコトヲ「チェック」スルコトハ勿論出來ル筈ガナイ、又サウ云フコトヲシテハ大變デアアル、其ノ金ヲ働カシテ、ソレノ利益ヲ得テ、其ノ人ノ購買力ヲ増スト云フコトニシナケレバ、貯蓄ガ増加シナイノデアリマス、サウ云フコトヲ「チェック」スルト云フ理窟ハナイと思ヒマス、又今日ノ資金統制法カラ言ツテモ、サウ云フ働キガアル筈ハナイト私ハ思フ、其ノ前提ハ全然御考ヘ違ヒデナイカト思フノデアリマスガ、是ハ議論ニ互リマスカラ多クヲ申シマセヌケレドモ、左様ナ御考ヘデアレバ、私ハソレハ御考ヘ直シテ願ヒタイ、詰リ日本銀行引受ニシテヤルト云フコトハ、大藏省トシテハ洵ニ所謂「イー・ゴーイング」デ、簡單明瞭デ宜イコトデアリマセウ、又急ニ應ズルコトデアリマ

セウ、元來日本銀行引受ニシタコトハ、事變始マツテ以來最初ニ賀屋君ガ大藏大臣ニナツテ居ラレタ時ニ、一億圓「シンジケール」ニ引受ケサセテ、一寸縮尻ツタヤウナ形ガアツタ、ソレハ私ヲシテ言ハシムルナラバ、時期ヲ誤ツタノデアアル、ソレ以來大藏省ハ手ヲ燒イテ、「イー・ゴーイング」ニ移ツテ、日本銀行引受一點張りニヤツテオイデニナリマスケレドモ、是ハドウモ一兩年來少シク考慮スル餘地ハナイカト私ハ思ツテ居タノデアリマスガ、私ハドウモ今ノ銀行局長ノ御意見ハ此ノ點ニ於テ御再考ヲ願ヒタイと思ヒマス、幸ヒ私ト同ジ意見ニ歸着致シマスレバ——私ハ此ノ或ル部分、全部トハ申シマセヌ、全部ハ出來ルモノデハナイ、サウスレバ餘リ多クヲ一般募集ニ致シマスレバ、甚シキ「デフレーション」ヲ生ジマス、昨年ノ下半年期「デフレーション」状態ノ如キハ、寧ロ日本銀行引受ノ方ガ宜イノデアリマス、又多少金融界ガ緩ンダと思フ時ハ、一般募集ヲサレルノハ手心ヲ適宜ニ加ヘルベキデアツテ、法律ノ上デ決メルベキモノデハナイノデアリマスカラ、適宜ニオヤリニナルコトガ當然デアリマス、私ハ念ノ爲ニ私ノ考ヘ方ヲ申上ゲテ、銀行局長ノ御考慮ヲ願ヒタイト存ジマス、御答辯下サルナラバ承ツテモ宜シイシ、必ズシモ是ハ御答辯ヲ願ハナケレバナラヌト云フ筋ノ問題デモナイノデアリマス

○相田政府委員 一應申上ゲマスガ、御意見ハ一般公募ト致シマシテ、金融機關以外ノ個人或ハ事業會社等ニモ引受ヲサセルト云フノデゴザイマセウカ、金融機關ニ關スル限りニ於キマシテハ、實ハ直接引受ケマシ

アリマスルシ、私カラハ御答スルコトヲ差控ヘテ置キタイト存ジマス

○武田委員 只今局長ノ御話デハ一般公募ヲスル積リハナイト云フ御答辯デアリマスカラ、私ハソレダケヲ承ツテ置ク外ナイノデアリマス、併シ唯念ノ爲ニ申上ゲテ置キマスガ、今ノ局長ノ御話デ——是ハ結局考ヘ方ノ違ヒカモ知レマセヌケレドモ、日本銀行引受ニシテモ、一般公募ニシテモ、今日金融統制ガ十分デアルカラ、其ノ結果ニ於テハ餘リ相違ノアルモノデハナイト云フ前提ノ下ニ、一般公募ヲシナイト云フ御答辯ハ、私ハ其ノ前提ニ非常ナ疑ヒヲ持つテ居ルノデアリマス、私ハ左様ナ考ヘ方ハアルベキデヤナイト思フノデアリマス、議論ニ互リマスカラ、多クヲ申シマセヌガ、殊ニ其ノ點ハ多分理財局長ノ御所管ノコトト思ヒマスカラ、銀行局長ニ餘リ議論ガマシイコトヲ申上ゲルノハ如何カト思ヒマスノデ差控ヘマスガ、一應申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ドウモ今ノ御考ヘハ御考ヘ違ヒデヤナイカト思フ、成程先ニ日本銀行ガ引受ケテ、後カラ一般ニ賣出ス、先ニ募集スルノモ、民間カラソレダケノ金ヲ引上ゲテ回收スルト云フ其ノ結果ハ、ソレハ變ラヌデセウ、併シナガラ先ニ政府カラ金ヲ放出シテ、其ノ放出シタ金ガ直チニ銀行ニ戻ツテ來テ、其ノ銀行ガ直チニソレデ日本銀行引受ノ公債ヲ買入レレバ、ソレハ何デモナイ、一般募集トチヨツトモ變リハナイケレドモ、サウ云フ事實ハアリアウガナイ、其ノ時々ノ情勢ニ依ツテ色々變化ハアリマスケレドモ、政府ハ財界ニ買入資金其ノ他トシテ放出ヲ致シ、或ハ給料其ノ他トシテ放出致シマシタ金ガ、銀行ニ戻ツテ來ルマデ

ノ間ニ相當長イ時間ヲ要スルコトハ申スマデモナイ、サウシテ其ノ間ニ其ノ金ガジツトシテハ居リマセヌ、相當轉々シテ働イテ居ルノデアリマス、其ノ金ガ働クコトニ幾分ノ利益ヲ生ンデ居ルノデアリマス、唯ジツトシテ居ルノデアリマセヌ、其ノ利益ハ即チ其ノ利益ヲ受ケタ人ノ購買力ニナルノデアリマス、働ク金ハ一ツデアリマスケレドモ、殆ド手ガ變ル毎ニソレニ利益ガ附イテ居ル、サウシテ其ノ爲ニ購買力ガ殖エテ行クノデアリマスカラ、今銀行局長ノ仰シヤツタ、先ニ日本銀行ガ引受ケタモノ、一般募集シタモノモ、同一ノ結果ダト言ハレルノハ、ソレハ非常ナ違ヒデアルト思フ、今日ノ資金ノ統制法ノアノ建前カラ致シマシテハ、會社若シクハ個人ガ持つテ居ル購買力ソレ自身ヲ統制スル統制デハナイ、アノ資金ノ統制法ニ依ツテ、各自ガ其ノ金ヲ働カシテ利益ヲ生ムト云フコトヲ「チェック」スルコトハ勿論出來ル筈ガナイ、又サウ云フコトヲシテハ大變デアアル、其ノ金ヲ働カシテ、ソレノ利益ヲ得テ、其ノ人ノ購買力ヲ増スト云フコトニシナケレバ、貯蓄ガ増加シナイノデアリマス、サウ云フコトヲ「チェック」スルト云フ理窟ハナイと思ヒマス、又今日ノ資金統制法カラ言ツテモ、サウ云フ働キガアル筈ハナイト私ハ思フ、其ノ前提ハ全然御考ヘ違ヒデナイカト思フノデアリマスガ、是ハ議論ニ互リマスカラ多クヲ申シマセヌケレドモ、左様ナ御考ヘデアレバ、私ハソレハ御考ヘ直シテ願ヒタイ、詰リ日本銀行引受ニシテヤルト云フコトハ、大藏省トシテハ洵ニ所謂「イー・ゴーイング」デ、簡單明瞭デ宜イコトデアリマセウ、又急ニ應ズルコトデアリマ

セウ、元來日本銀行引受ニシタコトハ、事變始マツテ以來最初ニ賀屋君ガ大藏大臣ニナツテ居ラレタ時ニ、一億圓「シンジケール」ニ引受ケサセテ、一寸縮尻ツタヤウナ形ガアツタ、ソレハ私ヲシテ言ハシムルナラバ、時期ヲ誤ツタノデアアル、ソレ以來大藏省ハ手ヲ燒イテ、「イー・ゴーイング」ニ移ツテ、日本銀行引受一點張りニヤツテオイデニナリマスケレドモ、是ハドウモ一兩年來少シク考慮スル餘地ハナイカト私ハ思ツテ居タノデアリマスガ、私ハドウモ今ノ銀行局長ノ御意見ハ此ノ點ニ於テ御再考ヲ願ヒタイと思ヒマス、幸ヒ私ト同ジ意見ニ歸着致シマスレバ——私ハ此ノ或ル部分、全部トハ申シマセヌ、全部ハ出來ルモノデハナイ、サウスレバ餘リ多クヲ一般募集ニ致シマスレバ、甚シキ「デフレーション」ヲ生ジマス、昨年ノ下半年期「デフレーション」状態ノ如キハ、寧ロ日本銀行引受ノ方ガ宜イノデアリマス、又多少金融界ガ緩ンダと思フ時ハ、一般募集ヲサレルノハ手心ヲ適宜ニ加ヘルベキデアツテ、法律ノ上デ決メルベキモノデハナイノデアリマスカラ、適宜ニオヤリニナルコトガ當然デアリマス、私ハ念ノ爲ニ私ノ考ヘ方ヲ申上ゲテ、銀行局長ノ御考慮ヲ願ヒタイト存ジマス、御答辯下サルナラバ承ツテモ宜シイシ、必ズシモ是ハ御答辯ヲ願ハナケレバナラヌト云フ筋ノ問題デモナイノデアリマス

○相田政府委員 一應申上ゲマスガ、御意見ハ一般公募ト致シマシテ、金融機關以外ノ個人或ハ事業會社等ニモ引受ヲサセルト云フノデゴザイマセウカ、金融機關ニ關スル限りニ於キマシテハ、實ハ直接引受ケマシ

テモ、一旦日本銀行ノ引受ケマシタモノヲ更ニ賣却シマシテモ、今日餘リ違ヒハナカラウカト存ゼラレルノデアリマス、一般個人方面ニ對スル消化策トシテ今日ヤツテ居リマス國債ノ郵便局賣出シ、ソレカラ貯蓄債券、報國債券ノ賣出シト云フモノハ、是ハ結局民衆方面ニ對スル一般公募ト謂ツテモ宜イト思ヒマスガ、金融機關ヲ相手ニシテ直接公募ヲヤルト云フ方法ハ、今日ノ所大藏省トシテハ考ヘテ居ラヌ次第デゴザイマス

○武田委員

今ノ問題ハ是レ以上申スト意見ノ相違ト云フコトニナリマセウカラ、餘リ多クハ申上ゲマセヌガ、唯私ノ言フ一般公募ト申スノハ、今局長ノ言ハレタヤウニ貯蓄債券トシテ賣出ストカ、或ハ郵便局ヲ賣出ストカ云フ意味ノコトヲ申スノデアリマセヌ、勿論ソレハ一般公募ニ違ヒアリマセヌ、ソレハ現在オヤリニナツテ居ルコトデ、ソレヲ良イトカ悪イトカヲ申スノデアリマス、私ノ一般公募ト云フノハ、日本銀行引受ニシテ後カラ賣出ストカ、幾分先ニ一般ニ公募スト云フノデアリマス、前後ダカラ同一ダト仰シヤルケレドモ、私ノ解釋ハサウデハナイ、先ニ一般カラ募集シテ、其ノ募集シタ金ヲ政府カラ拂出スト、日本銀行ニ公債ヲ與ヘテ、公債ノ代リニ兌換券ヲ政府ノ預金ニシテ、サウシテソレヲ民間ニ拂ヒ出ストトデハ、其ノ金ノ働キニ於テ非常ナ相違ガアルト云フコトヲ申スノデアリマス、ソレヲ今ノ局長ノ御意見デハ、ソレハ同ジコトデアアル、先ニ金ヲ集メテ置イテ出シテモ、先ニ出シテ置イテ後カラ其ノ金ヲ取ツテ來テモ結果ハ同ジコトデアアル、斯ウ云フ御考ヘノヤウ

デアリマスケレドモ、其ノ御考ヘハ私ハ餘リニ素朴デハナイカト思フ、其ノ點ハ是レ以上申シマセヌ

○西村委員長

武田君、マダ長クナリマセウカ

○武田委員

モウ直グ終リマス、實ハ今日ハ質問者ハ一人ナモノデスカラ……委員長ノ御都合デ何時デモ止メマスガ……

○西村委員長

敬意ヲ拂ツテ十分御質疑願ツテ居ルノデスカ、ドウゾ一ツ成ベク簡單ニ御願ヒシマス

○武田委員 承知シマシタ——ソレデハモウ一ツ二ツ簡單ニ御伺ヒシテ終リマス、モウ一ツ伺ツテ置キマスガ、今日生産擴充ト云フコトハ朝野共ニ熱心ニ唱ヘラレテ居テ、又我が國ノ戰時體制ト致シマシテモ、何レノ點カラ見マシテモ絶對的必要ナコトハ當然デアリマス、此ノ爲ニ今日其ノ衝ニ當ツテ居ル者ガ一番困ル事ハ、工業金融ノ機關ガ十分デナイコトデアリマス、今日工業金融トシテハ興業銀行ガソレニ當ツテ居ルダケデアリマス、併シナガラ銀行局長御承知ノ通り、興業銀行ハ滿鐵トカ或ハ其ノ他ノ大キナ主トシテ半官半民ノ會社、若クハ民間會社デアツテモ非常ニ大キナ會社ヲ相手トシテヤツテ居ルノデアツテ、三百萬トカ五百萬トカ位ノ小サナモノハ餘リ相手ニサレテ居ラヌ、又ソレヲ相手ニスル程ノ力モ興業銀行ニハナイデアリマセウ、併シ一般普通銀行ニ工業金融ヲシロト云フノモ無理ナ話デアリマス、今日ノ預金ノ状態ヲ見ルト、定期預金ヨリハ當座預金、通知預金ガ多イト云フヤウナ状態ニ於テ、其ノ預金ヲ以テ工業金融ヲ一般普通銀行ニヤレト云フコトモ、是ハ無理ヲ強ヒルモノデアリマスカラ、サウハ行

カスデアリマセウ、ソコニ於テ私ハ特殊ノ中小工業者ニ取ツテハ、ソレハ商工中央金庫トカ何トカソレ等ノ方法ヲ政府ガ講ゼラレテ居リマス、又大藏省預金部カラサウ云フモノニ特別貸付ヲスルヤウナ途モ開カレテ居ル、所ガ日本ノ工業ノ中心ニナツテ居ル四、五百萬カラ二、三千万ノ資本ヲ持ツテ居テ、主トシテ軍需工業若クハ輕工業ニ當ツテ居ルモノ、詰リ工業ノ中心トナツテ居ルヤウナ方面ニ對シテノ金融ハ、今日非常ニ困ツテ居ル、殊ニ昨年以來——是ハ銀行ノミヲ責メラレナイケレドモ、大藏省殊ニ銀行局アタリデハ、私ハ御考ヘニナツテ然ルベキコトデハアルマイカト思フコトハ、一昨年アタリカラ昨年ノ春アタリマデハ、可ナリニ金融ガダブツイテ居タモノデアアル、サウシテ銀行業者ハドウシテソレヲ放資シヨウカト云フコトニ焦ツテ居タ氣味ガアル、サウシテ工業家ハ其ノ金融ノダブツキヲ利用シテ金ヲ借りテ、殊ニ大藏省デモサウ云フ方針ヲ御執リニナツテ居タヤウデス、成ベク増資ニ依ラズシテ借入金デヤツタ方ガ宜イト云フ方針ヲ御執リニナツテ居ツタ、大藏省ガ其ノ方針デアリ、銀行モ金ガダブツイテ居タシ、工業者ノ方モ株式ノ増資ニ依ツテ資金ヲ調達スレバ、相當高イ配當ヲシナケレバナラヌガ、其ノ當時ノヤウナ安イ金利デ銀行カラ借入レテスレバ、經營ノ上ニ於テ非常ニ便利ガアリマス、殊ニ大藏省ハサウ云フコトヲ御獎勵ノヤウナ態度デアツタカラ、普通銀行カラ運轉資金ハ勿論ノコト、或ハ設備資金サヘモ借入金デ賄ツタモノモ相當アル、然ルニ昨午下期ニナツテ少シク金融ガ逼迫シテ來ルト、銀行ハ急ニ回收ヲ始メテ、無理無體ニ回收シテ居ル

事實ガアル、其ノ爲ニ非常ニ困難ヲ來シテ、昨年十一月頃ニハ或ハ恐慌ヲ來シハシナイカト云フ位ニナツタノデアリマス、一ツハ株式ノ低落ト云フコトモ一ツノ原因デアツテ、株式ヲ擔保ニシテ借りテ居ツタ者ハ、内入金若クハ擔保ヲ要求サレルト云フヤウナ事態デ、是モ一ツノ原因デアツタデセウ、兎ニモ角ニモ、銀行ガ餘リ資金ノ回收ニ焦リ過ギタ爲ニ、非常ニ工業家ニ苦痛ヲ與ヘテ、非常ナ困難ニ陥ツテ、今日尙ホ其ノ状態デアリマス、ソレハ大藏省モ御承知ノ通りデアラウト思ヒマス、之ニ對シテ之ヲドウ打開スルカト云フ當面ノ問題モ、大藏省トシテ御考ヘニナツテ居ルデアリマセウ、併シナガラ又預金ヲ持ツテ運用シテ居ル金融業者ニ對シテ、危險ガアツテモ回收スルナト云フノモ多少ノ無理ガアリマセウシ、又短期資金ヲ主トシテヤツテ居ル商業銀行ニ向ツテ、設備資金ヲ澤山貸出セト云フコトモ、是モ無理デアリマセウ、是ニ於テ此ノ工業金融ヲ今日ノ興業銀行一手ニミ賄ハスト云フダケデハ、本當ニ私ハ工業金融ガ圓滑ニ行カナイデハナイカト思フ、之ニ向ツテ何等カノ構想ヲナスツテオイデニナルカドウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ、ソレトモウ一ツハ、ソレヲドウスルカト云フコトニ向ツテハ中々困難デアリマセウシ、假ニ或ル種ノ計畫ガアツタトシテモ、ソレヲ實現シテ工業金融ノ圓滑ナル結果ヲ得ルマデニハ、相當ノ時間ガ要ル、其ノ間ダケヤハリ今日ノ普通銀行ヲシテ、工業金融ノ一部ヲ負擔セシムルト云フコトモ、是ハ現在モ將來モ已ムヲ得ヌデアリマセウ、ソコニ於テ私ハ普通銀行ヲシテ、工業金融或ハ長期金融ニ便ナラシムル爲ニハ、其ノ預金ニ對シテ預金

者ノ安心スルヤウナ方法ヲ一ツ考ヘナケレバナラヌデハナイカト思フ、其ノ爲ニハ政府ハ銀行ノ預金ノ保證ヲスルト云フコトヲ御考ヘニナツテ居ルカドウカ、是ハ其ノ方法ニ於テハ色々アリマセウ、私モ多少ノ腹案ヲ持つテ居リマスガ、其ノ詳細ナコトハ先ヅ別トシテ、大體ニ於テ政府ハ普通銀行若クハ普通銀行ニ限ラズ、貯蓄銀行デモ、總テ民間ノ預金ニ對シテ政府ガ保證ヲスルト云フ方法ヲ執ツテハドウカ、勿論其ノ保證ヲスルニ於テハ其ノ準備金トシテ日本銀行ニ預ケシムルト云フヤウナ方法手段ハ色色アリマセウ、ガ鬼ニ角サウ云フ方法ヲ執ルガ宜シ、又サウシナケレバナラヌノデハナイカト思フ、「アメリカ」ノ如キ御承知ノ通り相當長イ間銀行ノ預金ニ對スル保證ヲ、政府ガシテ居ル事實モアリマス、非常ニ「アメリカ」ノ農業金融ハ此ノ爲ニ促進ヲシ——是ハ工業金融ノミデハアリマセウガ、其ノ爲ニ預金ガ非常ニ増加シ、サウシテ金融ガ圓滑ニ行ツテ居ルト云フ事實モ御承知ノ通りデアリマス、私ハソレ等ノ實例カラ考ヘテ見マシテモ、我が國ノ今日ノ工業金融ノ實情カラ考ヘテ見マシテモ、左様ナ手段ヲ執ルコトモ、一ツノ考ヘ方デハアルマイカト思フガ、此ノ點ニ付テ大藏省ノ御意見ハ如何デアリマセウカ、伺ツテ見タイト思ヒマス

○相田政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマス前ニ、一寸先程私ノ申上ゲマシタコトヲ補足ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ國債發行ノ方法ト致シマシテ、日本銀行引受テ發行シテ、然ル後ニ金融機關ニ之ヲ賣却スルト、直接金融機關ニ引受ヲサセルノト、餘リ違ヒガナイヤウニ思フ

ト云フコトヲ申上ゲマシタノハ、今日ノ現狀ヲ基礎トシテ申シテ居ルノデアリマシテ、今日ノ現狀ト申シマスノハ、毎日相當額ノ國債ガ連續發行セラレテ居ル狀態ヲ、私ハ申シテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ只今ノ御質問デアリマスガ、工業金融ノ緊要ナルコトニ付キマシテノ御意見ハ、洵ニ御尤モデアリマス、今日ノヤリ方ト致シマシテハ生産力擴充資金ノ供給ト云フモノハ、多年其ノ方面ノ金融ニ熟練シテ居リマス興業銀行ヲ中心ニシテ、之ニ當ラセテ居リマスコトハ仰セノ通りデアリマスガ、興業銀行ト雖モ必ズシモ大口ノモノニ限ツテ居ルノデハアリマセウノデ、中小工業部面ニ於キマシテモ、出來ルダケ金融ノ便ヲ圖ルヤウニ努力ヲ致サセテ居ルノデアリマス、普通銀行ノ資金ヲ工業金融ニ動員致シマスコトニ付キマシテハ、只今ノ御意見モゴザイマシタヤウニ、資金ノ性質上難點モゴザイマスガ、併シモ近來謂ハバ銀行ノ「プール」制のナコトヲヤリマシテ、共同ニ融資ヲスルト云フヤウナ方法モ漸次行ハレツツアリマスルシ、其ノ他地方銀行資金ヲ工業部面ニ活用シマス爲ニ、地方銀行ニ興業債券ヲ引受ケサセマシテ、ソレデ以テ興業ノ此ノ方面ニ對スル資金融通ノ力ヲ付ケルト云フコトモ致シテ居ルノデアリマス、刻下ノ是非必要ナ時局産業デアリマシテ、而モ其ノ回收確實性ニ付テ稍、心配ガアルト云フヤウナモノニ付キマシテハ、銀行ノ性質トシテ自分自身ノ危險デアレナイ場合モアリマスガ、斯ウ云フモノニ對シテハ今日ノ建前トシテハ銀行等資金運用令ニ依ル融資命令ニ依ツテ、之ヲ融資スルト云フヤリ方ヲツテ居ルノデアリマシテ、別ノ方面カラ普通銀行等ノ預

金ヲ國家ガ保證シテ、銀行ガ斯ウ云フ工業方面ノ而モ多少危險ノアルヤウナ方面ニモ安心シテ貸出ヲ爲シ得ルヤウナ風ニスルコトガ宜イカドウカ、是ハ十分研究ノ餘地ノアル問題ダト思ツテ居リマス、尙ホ工業金融ノ問題ニ付キマシテハ、勸業銀行モ、其ノ本來ノ使命ハ農村方面ニアツタノデアリマスガ、近年農村ノ方ハ比較的資金ノ需要ガ少クテ、其ノ方面ノ餘裕ヲ以チマシテ、生産力擴充方面ノ資金ノ融通ニモ相當活動ヲ致シテ居ルノデアリマス、又此ノ活動ヲ便宜ナラシムル爲ノ改正法律案モ、提案ニナツテ居ル次第デゴザイマス、工業金融ノコトニ付キマシテハ、只今申上ゲタヤウナ方法ニ依ツテヤリタイト考ヘテ居リマス、又銀行預金ニ對スル保證問題ニ付キマシテハ、是ハ研究スベキ大キナ問題デアリマスルガ、只今ノ考ヘ方トシテハ寧ろ普通銀行等ガ自分自身ノ責任ダケデハ貸出シ得ナイヤウナ資金デアツテ、而モ國家トシテ必要ナ資金ヲドウシテモ出サナケレバナラヌト云フ場合ニハ、融資令ニ依ツテ國ノ保證ノ下ニサウ云フモノヲ融通スル、斯ウ云フヤリ方デ行ク方ガ宜イノデナカラウカト一應考ヘテ居ル次第デアリマス、融資補償制度ニ付テモ十分ニ研究シテ見タイト存ジマス

○武田委員 モウ一ツ伺ツテソレデ止ヌマス、今伺ツタコトモ一應御尤モデスガ、結局スル所私ノ申上ゲタコトハ、大キナ研究題目トシテ他日ニ保留スルト云フコトデアリマスカラ、宜シク御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、併シナガラ餘リ之ヲ長ク打チヤツテ置クベキ問題デハナイノデアリマス、今日ノ銀行業者ノ態度ヲ大藏省トシテ一面嚴重ナル監督ヲ加ヘルト同時ニ、又一面ニ於

テ銀行業者ハ安心シテ金融業ニ従事スルヤウナ措置ヲモ執ツテヤラナケレバナラヌト思フノデアリマス、今銀行局長ノ御話ノヤウニ、國家目的ニ副フヤウナ場合ニハ、融資令ノ運用ガアルト仰シヤル、ソレハ慥カニサウ云フコトガアルノデアリマシテ、洵ニ結構ナコトデアリマス、併シナガラ今日ソレガ實際ニ行ハレタノハ算フル程モナイ、サウシテ指名サレタ所ノ銀行ハ興業銀行ト朝鮮銀行デスカ、一ツニウシカナイノデアリマス、又實際ノ實例ト云ツテモ殆ンドナイ、サウ云フモノハ飾海老デアツテ、本當ノ御馳走ニハナラヌ、併シソレハソレト致シマシテ、先程銀行業者間ニ「プール」制ヲ考慮シテ居ルト云フ御話ガアツタ、ソレモ私共同ツテ居リマス、併シナガラ「プール」制ノ如キモノヲ本當ニ運用スルト云フコトニ付キマシテハ、ヤハリ國家ノ預金保證制ト兼合セテ、ソコニ其ノ組織ノ中ニ取入レルノデナケレバ、私ハ本當ノ效果ハナイノデハナイカト思フ、併シ是等ノ點モ一應サウ云フコトヲ考ヘル途モアルト云フコトデナク、眞劍ニ一ツ善イカ悪イカ、善イトスルナラバ、如何ナル方法ヲ以テ之ヲ實行シタラ宜イカト云フコトニ向ツテ、具體的ナ問題トシテ御取上ゲ願ヒタイト思ヒマス、是ハサウ云フヤウニ希望ダケヲ申上ゲテ置キマス

次ニ私ノ先程申上ゲタ點ニ付テ御答辯ガナイノデアリマスガ、最近ノ銀行業者ガ餘リニ貸金ヲ急激ニ回收スルト云フコトハ、今重大ナ問題ニナツテ居ルト思フ、先程モ申上ゲマシタ通りニ大藏省ハ一昨年アタリカラ、成ベク設備資金モ運用資金モ借入金デ賄フヤウニト云フ風ニ、寧

重ナル監督ヲ加ヘルト同時ニ、又一面ニ於

口御獎勵ニナツタ立場カラ言ツテモ、今日銀行ガ少シク景氣ガドウカト云フコトデ、

貸出金ヲ澁ツタリ、或ハ之ヲ無理ニ回收スルト云フヤウナ状態ヲ、大藏省トシテ看過ナサレテ居ルト云フコトハ、私ニハ一寸受取レナイト思フ、元來近來ノヤウニ政府ガ聲ヲ大ニシテ公益優先ト云フコトヲ天下ニ聲明サレテ居ルヤウナ場合ハ勿論デアルガ、

公益優先ナドト云フコトヲ宣傳シナイ時デモ、銀行ハ多數大衆ノ預金ヲ預ツテ、ソレヲ運用スルト云フ意味カラ、銀行業ハ諸事業ノ中デモ極メテ公共性ノ多イモノト一般ニ認メラレテ、他ノ産業ハ自由主義經濟時代ノ政府ノ監督ヲナイ時デモ、銀行ニ限ツテ特別ノ監督ヲシ、特別ノ法規モアツタ、

然ルニ其ノ最モ公共性ヲ持ツテ居ナケレバナラス等ノ金融業者ガ、最モ今日利己主義ヲ發揮シテ居ル、自分ノ金ノ遊ビ居ル時ハ自分ノ方カラ使ツテ呉レ、使ツテ呉レト言ツテ貸出ニ狂奔シテ置イテ、サウシテ人ニウント使ハセテシマツテカラ、少シ金融ガ引緊ツタカラト云フノデ、今マデノ佛額ガ遽カニ鬼ノ顔ニ變ツテ、一刻モ猶豫ハ相成ラス、イザト言ハバ執達吏向ケルゾト

言ハヌバカリノ態度デ、貸金ヲ急激ニ回收スルト云フコトデハ、日本ノ將ニ芽生エントスル産業ヲ、金融業者ノ恐ロシキ手デ無理ニ摘ミ取ツテシマフト云フ結果ニナリハセヌカト思フ、之ニ對シテ大藏省ハ如何ナル方法手段ヲ御執リニナツテ居ルカ、之ヲ何等カ緩和スルト云フ途ヲ執ツテ居ルト云フコトヲ私ハ未ダ會テ聞カヌガ、之ニ對シテ大藏省ハ如何ニ御考ヘデアルカ、又如何ナル手段ヲ執ツテオイデニナルカ、更ニ將來如何ナル方法ヲ御執リニナラントスルノ

デアリマスカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○相田政府委員 昨年ノ九月、日獨伊三國同盟締結ニ伴ヒマシテ、經濟界ニ多少ノ警戒の氣分ト申シマスカ、サウ云フヤウナ氣分ガアリマシテ、此ノ場合銀行ニ於キマシテモ、貸出ヲ急激ニ引緊スルトカ、或ハ貸出シテアルモノヲ急ニ回收ヲ圖ルト云フコトガアリマシテハ、財界ニ非常ニ惡イ結果ヲ及ボシマスコトハ御説ノ通りデゴザイマスルノデ、其ノ際ニモ金融機關ニ對シマシテ、サウ云フ貸出ノ急激ナ引緊メヤ、急激ナ回收等ヲシナイヤウニト云フ注意ヲ發シタノデアリマス、金融機關ノ中デ、已ムヲ得ズ貸出ヲ回收スルトカ、新シイ貸出ヲ手控ヘルト云フ必要ノアルモノニ對シマシテハ、之ヲ興業銀行ナリ、勸業銀行ナリニ肩替リサセルコトニ付テモ相當斡旋ヲ致シタノデアリマス、今後共ニ金融機關ガ濫リニ

回收ヲ急イダリ、或ハ新規貸出ヲ手控ヘタリスルコトノナイヤウニ、十分注意致シタイト思ヒマス、唯是ト同時ニ考ヘナケレバナリマセヌコトハ、借主ノ方ニ於キマシテモ、長期資金ヲ短期ノ手形デ泳イデ居ルト云フヤウナ者ガ往々アリマシテ、サウ云フ者ガ金融ノ引緊リ状態ニナル時ニ非常ニ困ツテ來ルト云フ事例モ、屢見受ケラレマスルノデ、金融機關ノ側ニ於テ其ノ態度ニ付テ十分注意ヲ致シマスト同時ニ、企業者ノ方面ニ於キマシテモ資金ノ調達方法ニ付キマシテ、更ニ改善スベキ餘地モアルノデハナイカト考ヘラレル次第デアリマス

○武田委員 私ノ質疑ハ是デ打切リマス

○西村委員長 武田君ノ御質問ハ是デ終リヲ告ゲタヤウデアリマス、實ハ本日午前中

殘餘ノ七件ニ對シテハ、全部議題ニ上サナカツタノデアリマスガ、午後ノ本委員會ニ於テ木村委員カラ動議ガアツテ、全部上シタノデアリマス、隨テソレヲ知ラナイ委員ノ諸君ガ居ラレヤウト思ヒマス、仍テ明日午前十一時カラ、午後ハ一時カラモ引續キ開キマス、而シテ午前中ニ質問ガナケレバ打切ツテ、午後ハ外國爲替管理法案ト共ニ採決ニ入ラウト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時二十分散會

昭和十六年二月十五日印刷

昭和十六年二月十五日發行

衆議院事務局

印刷者 內閣印刷局